

# 昇龍道プロジェクトの現況及び 平成30年度活動状況



2019年3月8日  
第10回昇龍道プロジェクト推進協議会





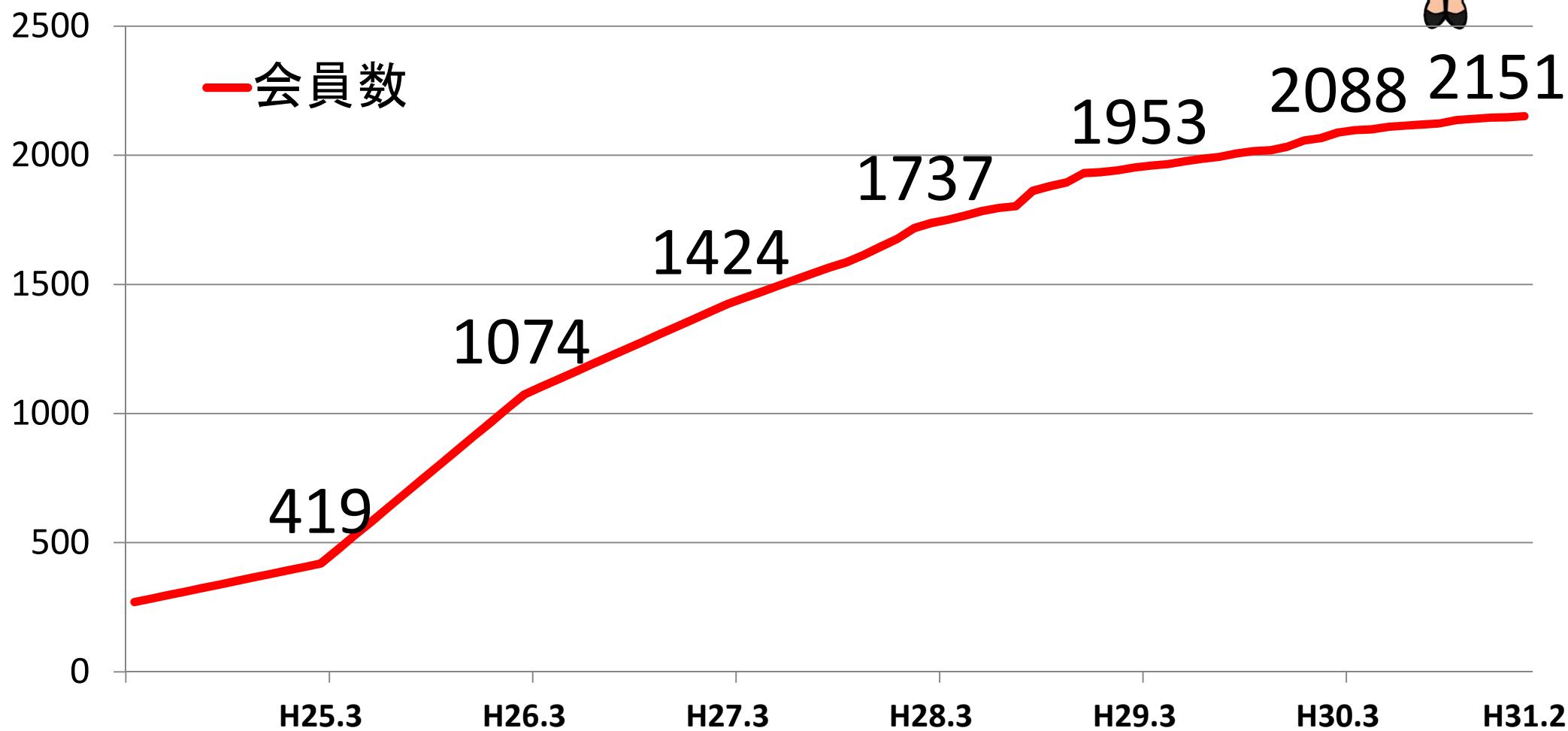
1. 昇龍道プロジェクト推進協議会会員
2. 昇龍道プロジェクトの目標値
3. 昇龍道の現況
4. 平成30年度の主な取組概要
  - (1) 戦略的なプロモーションの推進
  - (2) 広域周遊観光の促進
  - (3) 受入環境整備の推進
  - (4) 会員・関係者との連携の一層の強化
  - (5) 総括



# 1. 昇龍道プロジェクト推進協議会会員



協議会への加入の働きかけに、会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。

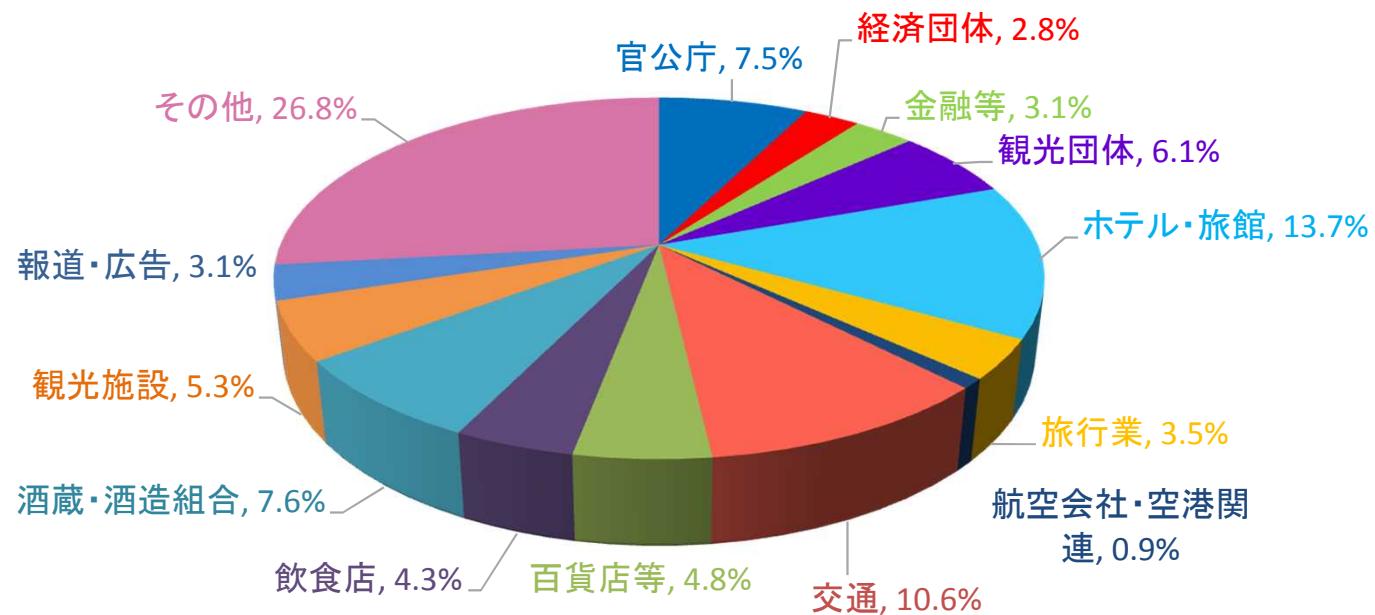


# カテゴリ別会員数 (H31年2月末現在)



昇龍道プロジェクト

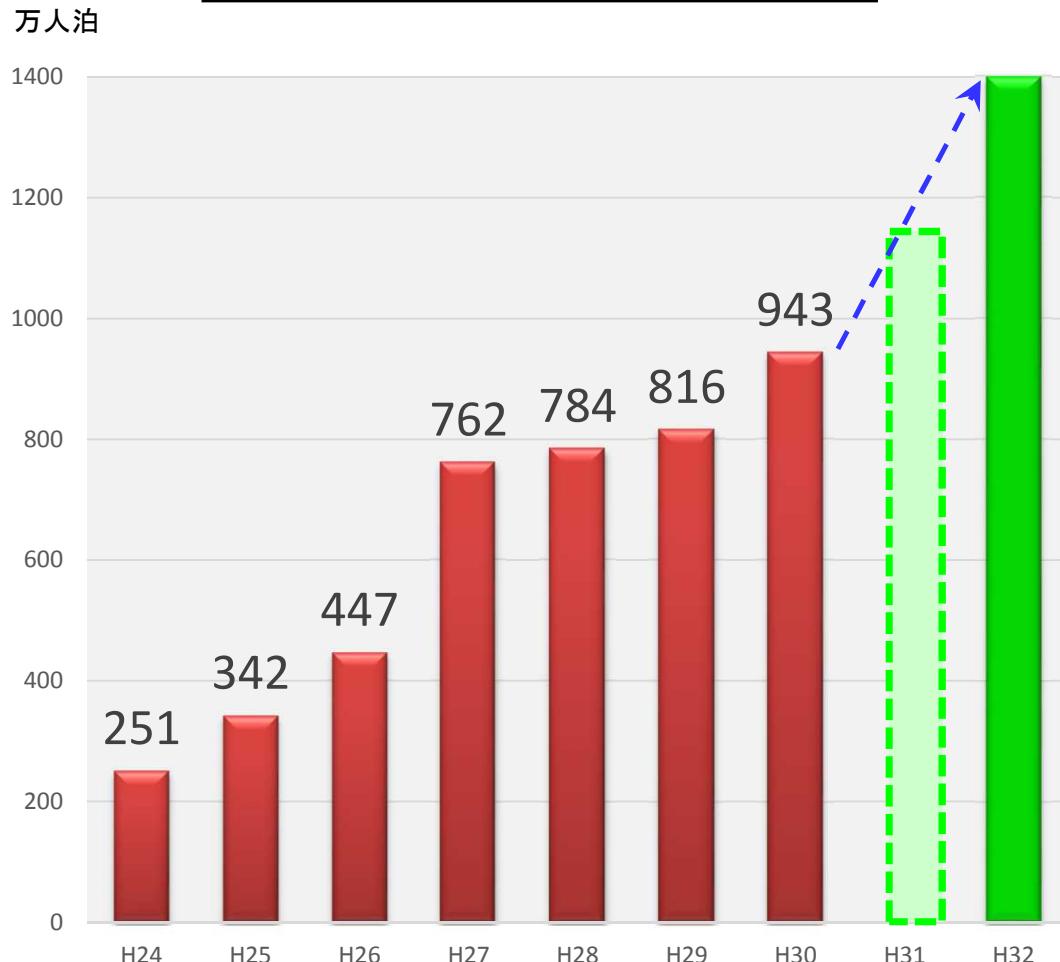
	愛知県	静岡県	岐阜県	三重県	福井県	石川県	富山県	長野県	滋賀県	その他	計	対前年増加数
官公庁	38	14	24	17	17	14	10	18	5	4	161	9
経済団体	9	10	12	3	22	2	2	0	0	0	60	1
金融等	23	5	11	10	3	3	3	2	1	5	66	11
観光団体	19	12	37	14	10	14	7	13	5	1	132	6
ホテル・旅館	65	35	54	38	17	20	20	31	9	6	295	6
旅行業	41	3	15	4	1	1	2	2	0	7	76	3
航空会社・空港関連	15	0	0	0	0	0	0	0	0	4	19	1
交通	60	43	55	20	18	8	7	8	1	7	227	2
百貨店等(物販)	46	6	18	7	6	6	5	2	3	5	104	4
飲食店	36	3	28	8	2	6	2	6	1	0	92	4
酒蔵・酒造組合	41	6	41	11	12	17	11	17	7	0	163	0
観光施設	26	6	31	13	13	9	5	5	5	0	113	7
報道・広告	42	1	4	0	1	3	2	0	0	14	67	1
その他	249	92	97	31	14	23	7	8	2	53	576	30
計	710	236	427	176	136	126	83	112	39	106	2,151	85





## 2. 昇龍道の目標値 (外国人延べ宿泊者数)

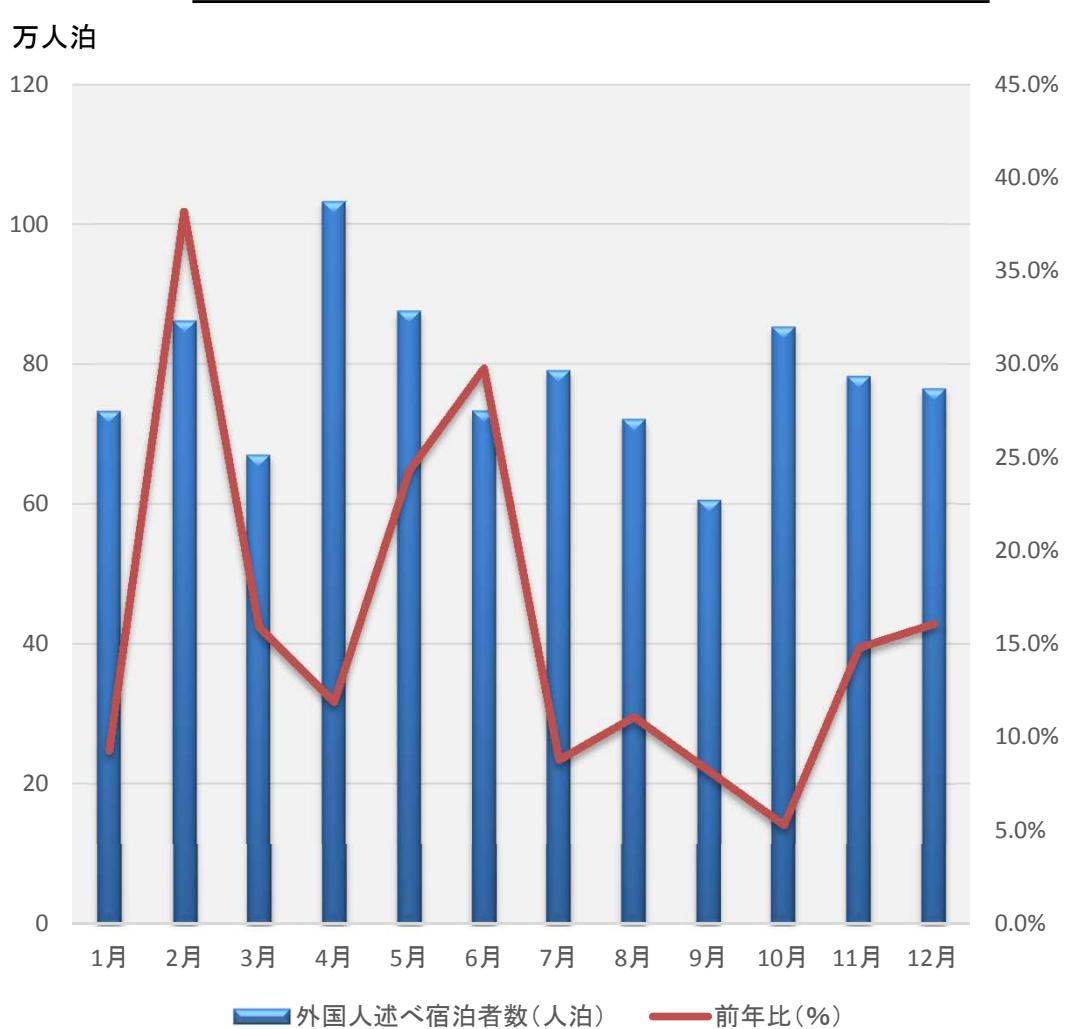
### 外国人延べ宿泊者数の推移



目標値  
(1,400万人泊)

※観光庁「宿泊旅行統計調査」による  
平成29年までは確定値、平成30年は速報値。

### 平成30年 外国人延べ宿泊者数





### 3. 昇龍道の現況

## 平成29年・平成30年の年間の比較

単位:万人泊

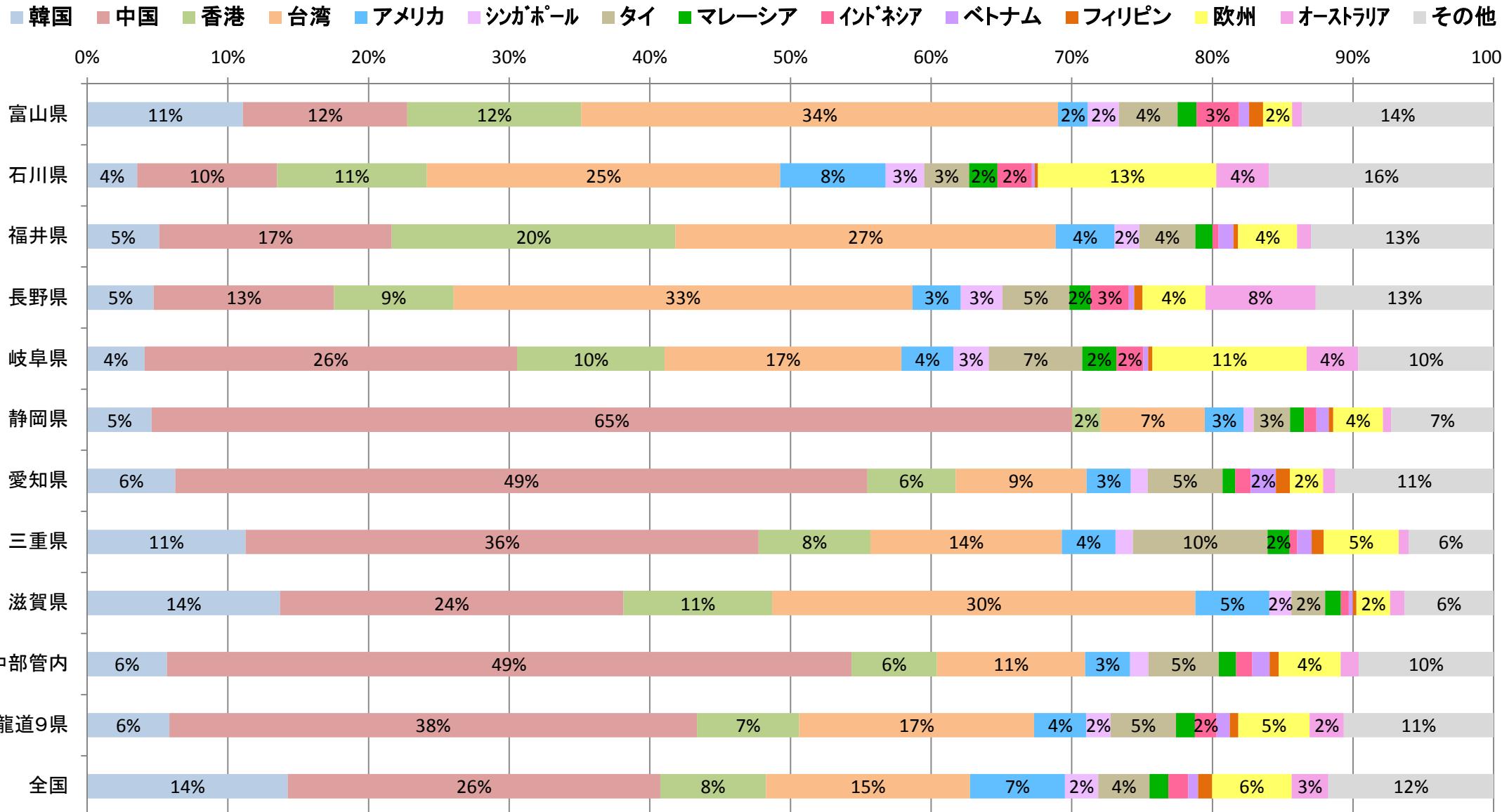
県別	①全宿泊者数			②外国人宿泊者数			外国人比率	
	平成29年	平成30年	伸び率	平成29年	平成30年	伸び率	平成29年	平成30年
富山県	390	349	-10.5%	29	29	-0.2%	7.4%	8.2%
石川県	874	838	-4.1%	78	92	18.9%	8.9%	11.0%
福井県	359	402	12.1%	6	8	29.6%	1.7%	2.0%
長野県	1,799	1,821	1.2%	129	146	13.5%	7.2%	8.0%
岐阜県	621	615	-0.8%	98	123	25.9%	15.7%	19.9%
静岡県	2,078	2,141	3.0%	150	181	20.7%	7.2%	8.5%
愛知県	1,719	1,729	0.6%	254	291	14.4%	14.8%	16.8%
三重県	832	883	6.2%	33	36	7.2%	4.0%	4.1%
滋賀県	465	435	-6.4%	39	37	-4.8%	8.4%	8.5%
中部管内計	5,608	5,771	2.9%	542	639	18.0%	9.7%	11.1%
昇龍道9県計	9,135	9,214	0.9%	816	943	15.6%	8.9%	10.2%
全国	50,960	50,902	-0.1%	7,969	8,859	11.2%	15.6%	17.4%

※観光庁「宿泊旅行統計調査」による  
平成29年は確定値、平成30年は速報値。

# 国籍(出身地)別外国人延べ宿泊者数構成比 (平成30年)



昇龍道プロジェクト



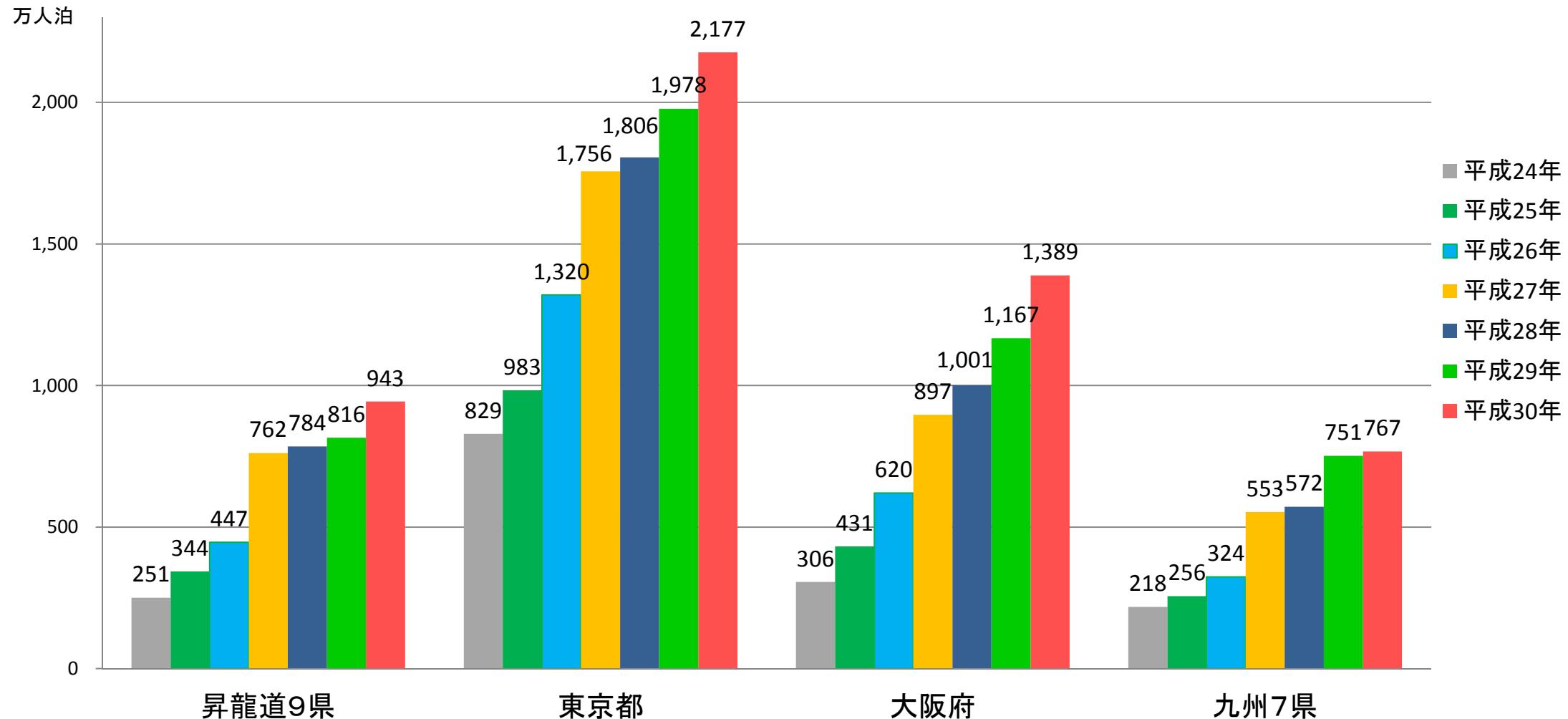
※観光庁「宿泊旅行統計調査」平成30年速報値による。

※従業者数10人以上の施設のため、合計値が一致しない場合がある。

※構成比数値の2%未満は記載を省略している。

※欧州は、英国、フランス、ドイツ、イタリア、スペインの5ヶ国の計。

### 昇龍道9県と他都市との外国人延べ宿泊者数の比較 (平成24年～平成30年)



※観光庁「宿泊旅行統計調査」による  
平成29年までは確定値、平成30年は速報値。

(左、単位:%、右:宿泊施設タイプ別の都道府県順位)

	全体				旅館				リゾートホテル				ビジネスホテル				シティホテル			
	平成30年		平成29年		平成30年		平成29年		平成30年		平成29年		平成29年		平成29年		平成29年		平成29年	
	稼働率(%)	順位	対前年比	稼働率(%)	稼働率(%)	順位	対前年比	稼働率(%)	稼働率(%)	順位	対前年比	稼働率(%)	稼働率(%)	順位	対前年比	稼働率(%)	稼働率(%)	順位	対前年比	稼働率(%)
富山県	49.3	38	-3.8	53.1	27.4	45	-6.2	33.6	52.2	25	-1.5	53.7	62.7	47	-3.3	66.0	67.9	37	-0.6	68.5
石川県	62.2	12	-2.2	64.4	48.7	2	-2.2	50.9	52.3	24	-2.9	55.2	73.2	16	-0.6	73.8	78.1	14	-1.4	79.5
福井県	48.3	40	7.1	41.2	31.4	40	3.6	27.8	55.8	14	5.6	50.2	77.9	10	4.7	73.2	67.4	39	8.7	58.7
長野県	37.1	47	0.5	36.6	27.9	44	1.8	26.1	39.4	43	2.5	36.9	70.7	29	-1.3	72.0	73.4	20	-1.1	74.5
岐阜県	50.2	37	1.1	49.1	36.6	29	-1.5	38.1	54.7	18	-0.9	55.6	68.0	38	-2.2	70.2	79.2	11	7.4	71.8
静岡県	56.6	23	1.2	55.4	46.3	9	0.7	45.6	55.7	15	-1.1	56.8	71.9	20	0.4	71.5	78.0	15	3.8	74.2
愛知県	70.6	4	-0.7	71.3	35.5	35	5.0	30.5	53.9	20	1.9	52.0	78.1	9	-0.9	79.0	78.9	13	-1.6	80.5
三重県	55.0	29	3.2	51.8	40.9	18	5.7	35.2	49.1	30	-2.1	51.2	71.7	22	6.1	65.6	75.1	18	-0.5	75.6
滋賀県	50.9	36	-4.5	55.4	35.9	33	-6.1	42.0	57.0	13	1.1	55.9	64.4	44	-4.0	68.4	74.7	19	1.5	73.2
昇龍道9県	53.4	-	0.3	53.1	36.7	-	0.1	36.6	52.2	-	0.3	51.9	71.0	-	-0.1	71.1	74.7	-	1.8	72.9
全国	61.1	-	0.6	60.5	39.0	-	1.5	37.5	58.3	-	0.8	57.5	75.3	-	0.0	75.3	79.9	-	0.4	79.5

※観光庁「宿泊旅行統計調査」による  
平成29年は確定値、平成30年は速報値。



は全国のトップ10に入っているところ



富山県	認定件数
カテゴリー3	1
カテゴリー2	7
カテゴリー1	9
パートナー	3

静岡県	認定件数
カテゴリー3	1
カテゴリー2	8
カテゴリー1	37
パートナー	4

石川県	認定件数
カテゴリー3	—
カテゴリー2	4
カテゴリー1	10
パートナー	9

愛知県	認定件数
カテゴリー3	5
カテゴリー2	2
カテゴリー1	11
パートナー	2

福井県	認定件数
カテゴリー3	—
カテゴリー2	1
カテゴリー1	8
パートナー	2

三重県	認定件数
カテゴリー3	—
カテゴリー2	5
カテゴリー1	8
パートナー	6

長野県	認定件数
カテゴリー3	—
カテゴリー2	11
カテゴリー1	15
パートナー	5

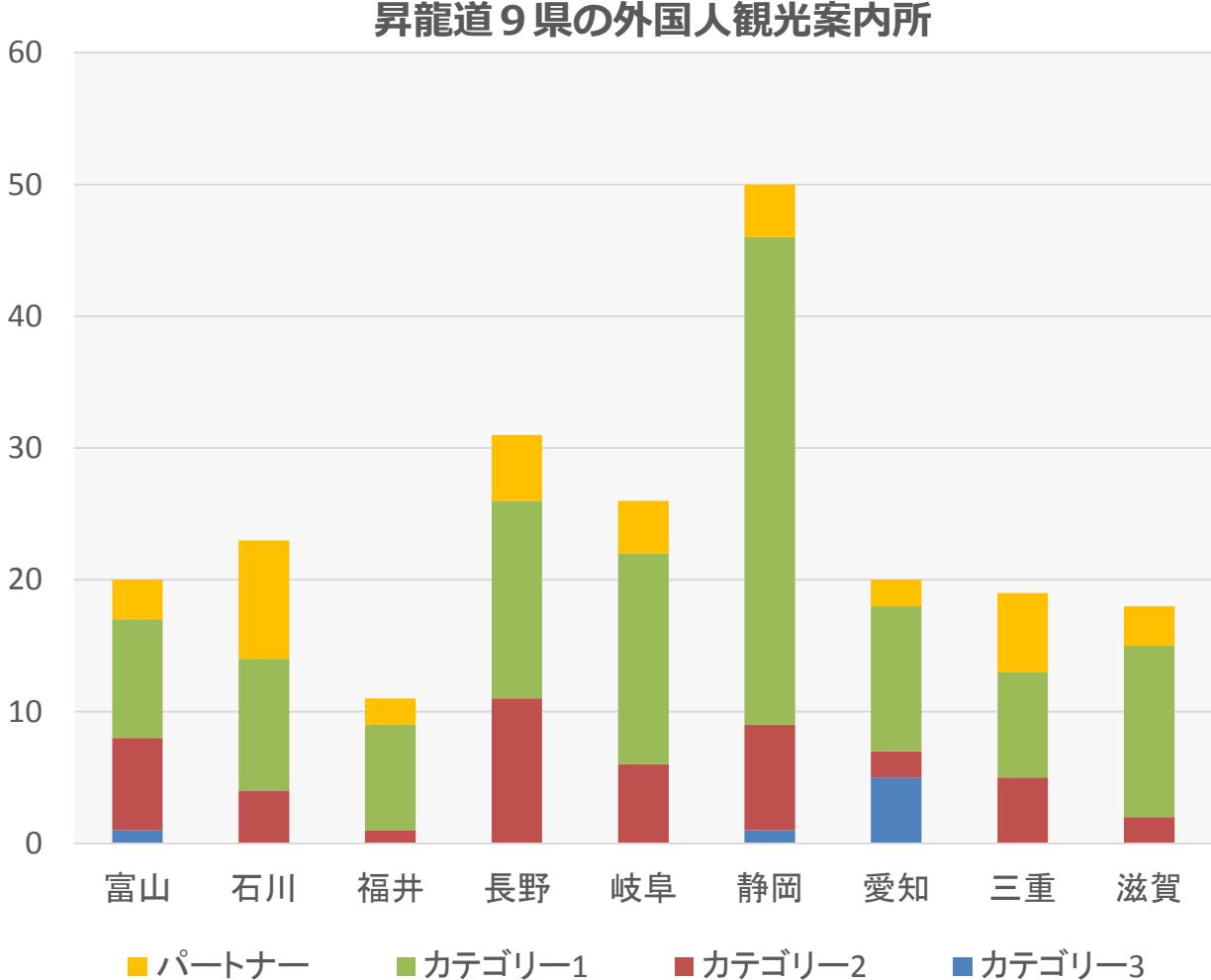
滋賀県	認定件数
カテゴリー3	—
カテゴリー2	2
カテゴリー1	13
パートナー	3

岐阜県	認定件数
カテゴリー3	—
カテゴリー2	6
カテゴリー1	16
パートナー	4

昇龍道	認定件数
カテゴリー3	7
カテゴリー2	46
カテゴリー1	127
パートナー	38

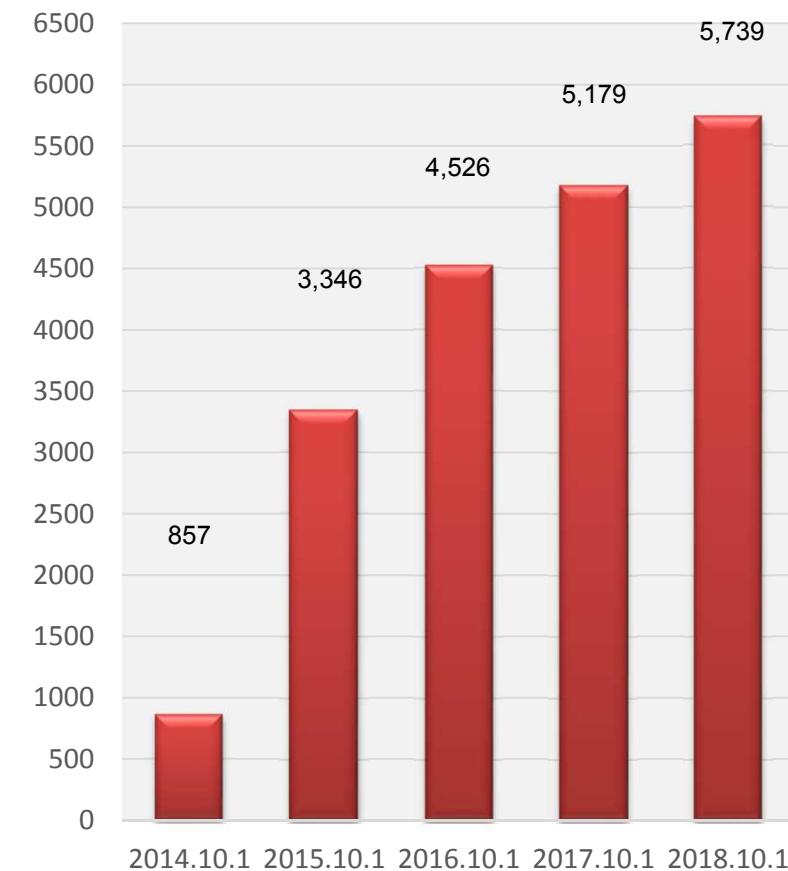
昨年比
±0
+6
+6
+4

**カテゴリー3** (全国レベルの観光案内提供・英語スタッフ常駐かつ英語以外の2言語対応常時可能等)  
**カテゴリー2** (広域の観光案内提供・英語スタッフ常駐等)  
**カテゴリー1** (地域の観光案内提供・パートタイムや電話通訳等で英語対応可能等)  
**パートナー施設** (外国人旅行者を積極的に受け入れる意欲があり、公平・中立な立場で地域の案内を提供等)



	店舗数					増加率 (2014.10.1比率)	増加率 (前回比率)
	2014.10.1	2015.10.1	2016.10.1	2017.10.1	2018.10.1		
長野県	88	341	439	490	548	622.7%	111.8%
富山県	73	279	332	345	361	494.5%	104.6%
石川県	46	250	344	450	484	1,052.2%	107.6%
福井県	3	29	55	69	78	2,600.0%	113.0%
岐阜県	57	245	322	346	385	675.4%	111.3%
静岡県	161	637	857	915	989	678.0%	108.1%
愛知県	296	1,037	1,447	1,759	2,007	678.0%	114.1%
三重県	81	313	417	472	530	654.3%	112.3%
滋賀県	52	215	313	333	357	686.5%	107.2%
昇龍道9県 計	857	3,346	4,526	5,179	5,739	669.7%	110.8%
参考：大阪府	1,259	3,320	4,328	4,586	4,999	397.1%	109.0%
全国	9,361	29,047	38,653	42,791	47,441	506.8%	110.9%
昇龍道のシェア	9.2%	10.4%	11.5%	12.1%	12.1%	+2.9	+0

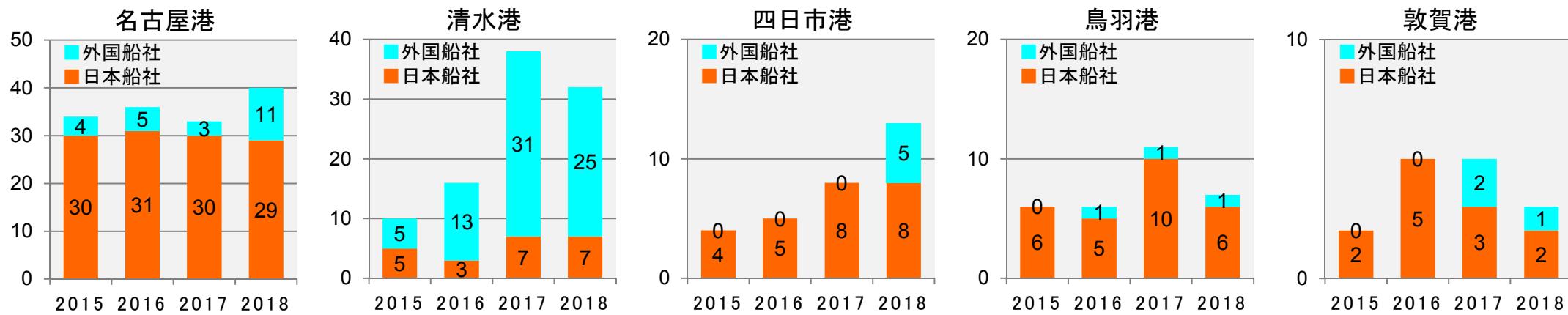
昇龍道9県の免税店数



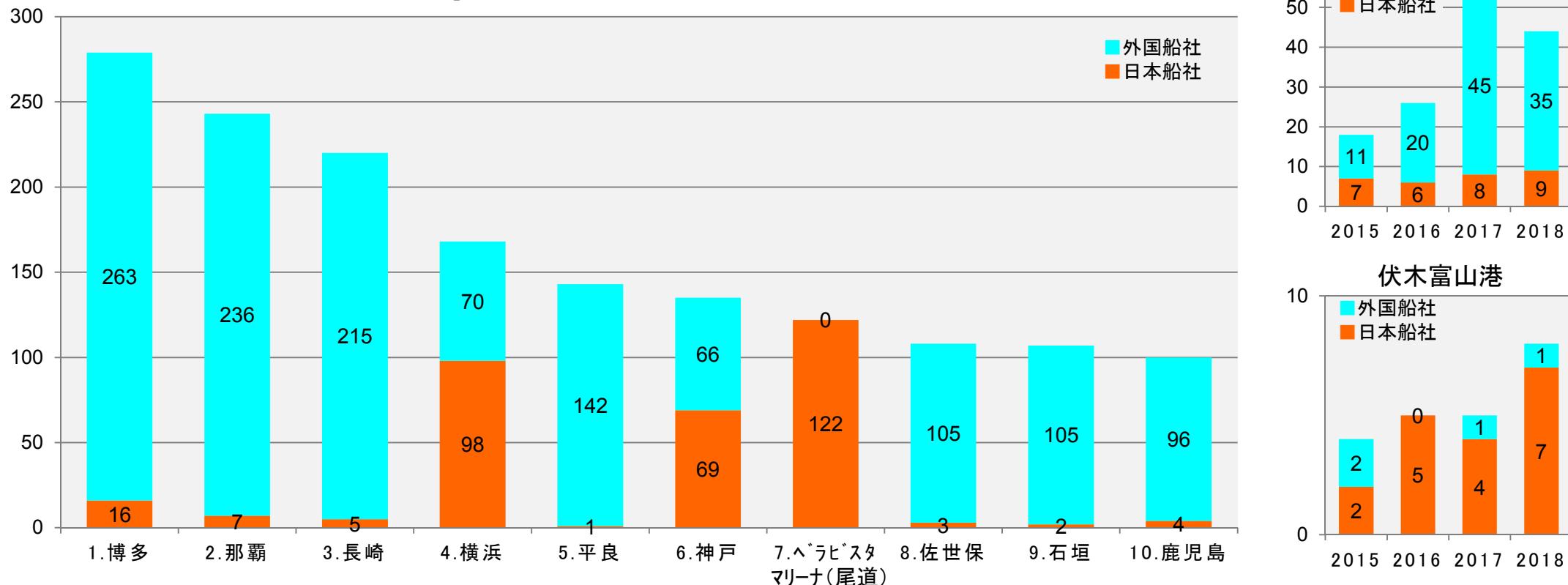
# 外航クルーズ船の誘致（昇龍道エリアの主な寄港状況）



昇龍道プロジェクト



## 港湾別クルーズ船の寄港回数（2018年）上位10地域





## 4. 平成30年度の主な取組概要



### 「JAPAN ROADSHOW 2018 Sydney」への参加

12月6日～7日

昨年度計画したオーストラリア市場への昇龍道ミッション団派遣が中止となつたことを受け、JNTOが主催する「JAPAN ROADSHOW 2018 Sydney」に参加

- 昇龍道エリアが一体となつたオーストラリア市場へのプロモーションは初。昇龍道エリアから中央日本総合観光機構を始め11団体が参加。
- エリア一体感を出すために「Go! Central Japan」のキャッチフレーズを使用。
- 昇龍道エリア全体で、179件の商談・面談を実施。
- 翌日、旅行商品造成に向けた「Central Japan」の紹介を含めたエリアプロモーションを行うため、シドニー市内の旅行AGT2社へセールスコールを実施。昇龍道エリアから7団体が参加。



### Central Japan



商談会の様子 (Central Japanデスク)



旅行AGTへのセールスコールの様子

⇒1月29日に昇龍道プロジェクトマーケティング部会（テーマ：オーストラリア市場）を開催



## 第4回昇龍道マーケティング部会（オーストラリア市場）

JNTOが主催する「JAPAN ROADSHOW 2018 Sydney」への参加した結果などを踏まえ、第4回目となるマーケティング部会を開催。豪州市場の状況や傾向などの知見を深めた。

- 日 時：平成31年1月29日(火) 13:30～15:30
- 会 場：名古屋合同庁舎第1号館共用大会議室
- 参加者：佐藤部会長はじめ46名



### ●プログラム

- ・(一社)中央日本総合観光機構：「JAPAN ROADSHOW 2018 Sydney」参加報告
- ・袋井市：ラグビーWCに向けた取組
- ・日本政府観光局(JNTO)：豪州市場の現状とプロモーション
- ・クリス・グレン氏のアドバイス（書面のみ）



### 【部会を通じて確認できたこと】

- ・東京・京都・大阪に比べて認知度がとても低い
- ・認知度を向上させるためには、旅行博や商談会などの行事に継続して参加することが重要
- ・豪州の旅行AGTからの問合せ等には早く反応することが重要（丁寧さよりも素早さ） 等

# (1) 戰略的プロモーションの実施



昇龍道プロジェクト

## 訪日プロモーション地方連携事業（平成30年度昇龍道内）

### ■メディアプロモーション

昇龍道の情報を個人旅行者に広く届けるため、現地メディア（WEB・SNS・冊子等）を活用したプロモーションを実施。

Facebook・Twitter・微博・微信等に観光情報掲載・広告出稿



Facebookでの情報発信

### ■旅行会社・メディア招請事業

現地の意見を交えた旅行商品の造成や現地目線での記事執筆・情報発信を行うことを目的に、海外から関係者を招請。

- ・旅行会社招請 21回…アジア 9回、欧米豪11回、中東1回
- ・メディア招請 40回…アジア32回、欧米豪7回、中東1回



フランス旅行会社招請

### ■旅行博出展・現地セミナー・商談会

現地の実務者と顔の見える関係の構築・維持及び認知度向上・旅行商品造成を目的に、海外各国に実務担当を派遣。

- ・旅行博覧会への出展 33回…アジア 23回、欧米豪 9回、中東1回
- ・現地セミナーの開催・参加 7回…アジア 4回、欧米豪 2回、中東1回
- ・商談会への参加 12回…アジア 5回、欧米豪 7回



台北国際旅展 (ITF2018)



### 訪日プロモーション地方連携事業（滋賀県に関係した実施例）

国・自治体・民間企業等が広域的に連携し、地方部への訪日外国人旅行者の誘客を図るために、メディア招請や商談会等を実施

#### 欧洲のインフルエンサー 招請



インフルエンサーによる情報発信

#### ゴルフに特化したツアー オペレーター招請



甲賀カントリークラブでの招請の様子

「走ること」を通じて、世界各地のデスティネーションを紹介しているインフルエンサーをイギリスより招請し、馬籠宿、妻籠宿などの宿場町や琵琶湖サイクリング（ビワイチサイクリング）、関ヶ原などを巡り、欧洲における認知度向上と誘客促進に向けた取組を実施。

#### 現地におけるセミナー・ 商談会の開催



↑台北でのセミナーの様子



高雄での商談会の様子↓

台湾市場を対象に、愛知県、滋賀県及び名古屋市と台湾双方の学校間交流の促進、将来の訪日旅行者の増加を図ることを目的に、現地観光関係者及び旅行会社を対象としたセミナーや商談会を実施。セミナー後に、教育旅行を取り扱う旅行会社の招請も実施。



### 日本政府観光局 (JNTO) による昇龍道の売り込み

- 中国の地方都市の旅行会社30社が、長野、岐阜、愛知を視察
- 視察後、昇龍道エリアに商材を持つインバウンド事業者との商談会を実施
- 中国地方都市における商品造成を促進することで、訪日中国人旅行者の更なる増加を目指した

#### ◆ 観察

日 時 平成30年6月29日～7月3日  
視察先 信濃追分、軽井沢、松本、上高地、高山、白川郷、郡上八幡、長良川、名古屋

#### ◆ 商談会

日 時 平成30年7月3日  
場 所 名古屋マリオットアソシアホテル  
参加者 (中国)地方都市旅行会社30社、(日本)昇龍道エリアのインバウンド事業者30社

商談会後に交流・意見交換会を実施し、中部運輸局の挨拶、名古屋おもてなし武将隊によるアトラクションなどを実施。



商談会



名古屋おもてなし武将隊のアトラクション



記念撮影



### 袁大使によるインバウンド講演会

■日 時：平成30年7月10日(火) 15:00～17:30

■会 場：岐阜都ホテル

(主催：岐阜県、東海地区外国人観光客誘致促進協議会岐阜県部会)

#### 袁大使の講演内容（抜粋）

##### ●おもてなしについて

- EGLでは日本人を真似た見送りを行っており、お客様に大変喜ばれている。
- 香港から日本へは深夜便の利用者が増えており、EGLでは搭乗ゲートで『起こさないで』『朝食の時に起こして』というシールを渡し、利用者が喜ぶサービスを行っている。
- EGLのお客様に水を渡すが、ペットボトルに名前入りのシールを貼っておもてなしをしている。
- 誕生日の方には手書きの誕生日カードを渡している。
- 来訪者全員にお土産を渡すよりも抽選（ゲーム）で1名にプレゼントした方がよりサプライズ感があり喜ばれる。

##### ●香港の特性について

- 香港のレンタカー利用者はとても増えている。
- 置での食事や睡眠は一度体験したら2回目は必要無い。香港人はリピーターが多く、置体験を既にしているので、テーブルでの食事やベットでの睡眠を求めている。
- 角部屋はエレベーターから遠いため、香港人には好まれない。ランクアップで角部屋にする場合は説明が必要。
- 温泉は入り方を字で説明するのではなく、絵で説明することが重要。
- 貸切温泉はどんどんやってほしい。プレミアム感を付けても売れる。
- 温泉に花を浮かべると香港人の女性に喜ばれる。



## 中部国際空港 サムライ×NINJA空港プロジェクトの実施

この地域の絶対的な魅力を持つ観光資源である「サムライ・ニンジャ」と外国人旅行者のニーズを結びつけ、『～セントレアと戦国時代の融合～』をテーマに、平成30年7月から「サムライ×NINJA空港プロジェクト」を開始し、インバウンド旅客の積極的な取込みを図る。



- 空港内各所にサムライ・NINJAの影絵やマネキンを設置。
- SNS等による情報発信を実施。
- セントレア～津なぎさまちを運航する津エアポートラインによる「忍者高速船キャンペーン」を実施。
- 訪日プロモーション地方連携事業と連動した海外へのプロモーションを実施。
- 地域との連携による装飾展示の実施
- JAL Wi-Fi 1周年ラッピングバスとの連携
- セグウェイツアーの忍者Verの実施



**忍者高速船**  
NINJA high speed boat  
「忍者高速船」キャンペーンで、世界に発信する



# (1) 戰略的プロモーションの実施

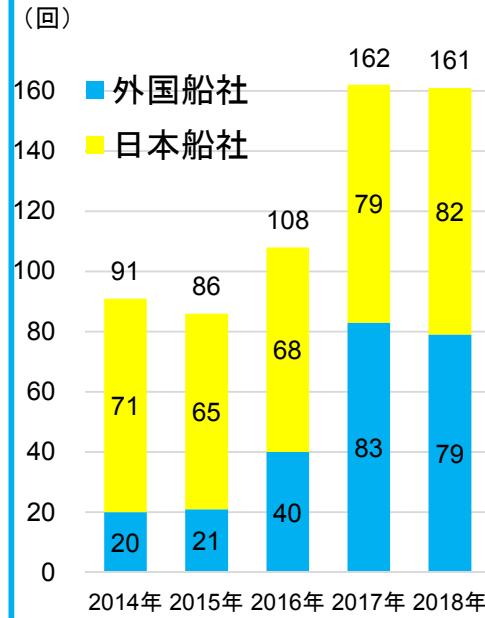


昇龍道プロジェクト

## クルーズ船の誘致促進

- 昇龍道のクルーズ船の寄港回数は、2018年は、過去最高水準を維持し、161回。
- 2018年は、四日市港に外国船社のクルーズ船が初寄港。また、津松阪港及び尾鷲港には、日本船社のにっぽん丸が初寄港。

### 昇龍道における クルーズ船寄港回数



【金沢港】  
初寄港(2018年)  
・MSCスプレンディダ(2018.5)  
・コスタ・フォーチュナ(2018.9)  
2018年寄港回数 44回  
(外国船社 35回、日本船社 9回)

【敦賀港】  
初寄港(2017年)  
・ダイヤモンド・プリンセス(2017.9)  
2018年寄港回数 5回  
(外国船社 1回、日本船社 4回)

【名古屋港】  
初寄港(2018年)  
・アマデア(2018.2)  
・シルバー・シャドー(2018.10)  
2018年寄港回数 40回  
(外国船社 11回、日本船社 29回)

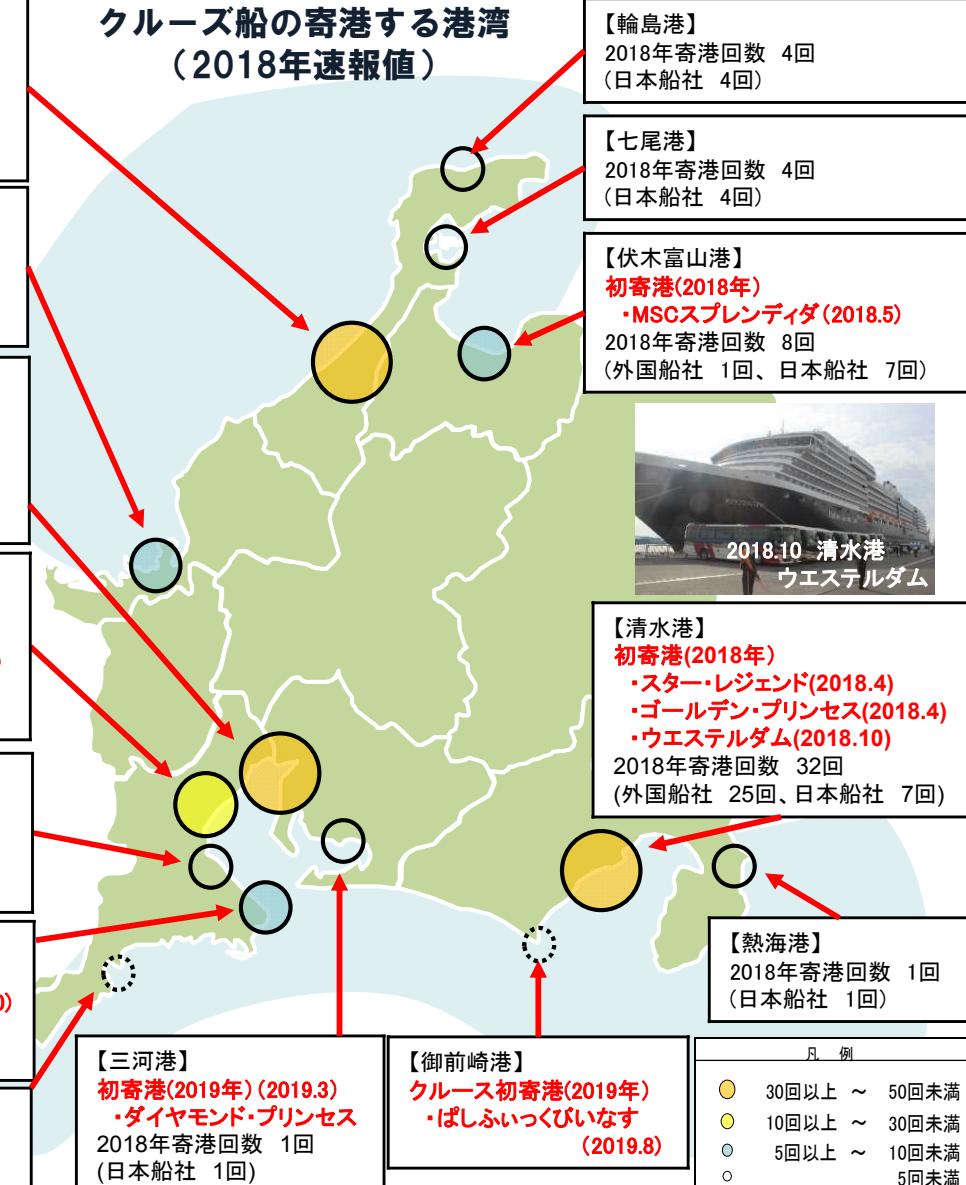
【四日市港】  
初寄港(2018年)  
・コスタ・ネオロマンチカ(2018.1)  
・ダイヤモンド・プリンセス(2018.6)  
2018年寄港回数 13回  
(外国船社 5回、日本船社 8回)

【津松阪港】  
クルーズ初寄港(2018年)  
・にっぽん丸(2018.9)  
2018年寄港回数 2回  
(日本船社 2回)

【鳥羽港】  
初寄港(2018年)  
・ダイヤモンド・プリンセス(2018.10)  
2018年寄港回数 7回  
(外国船社 1回、日本船社 6回)

【尾鷲港】  
クルーズ初寄港(2019年)  
・にっぽん丸(2019.3)

### クルーズ船の寄港する港湾 (2018年速報値)



## 平成30年7月豪雨災害の復興対策

岐阜県などで土砂流出、道路の冠水、JR高山線の不通などの被害を受け、観光振興に大きな影響をもたらした7月豪雨災害に対して、観光支援事業補助金、「中部の観光は元気です！」発信プロジェクトなどの復興対策を実施。

### 【主な復興対策】

#### ＜岐阜県＞

- あらゆる手段を活用した正確な情報発信
- 県単独及び国の補助金を活用した宿泊助成
- 国の補助金を活用したお得なセットキップの販売

#### ＜JR東海＞

- 飛騨路応援キャンペーン
  - ・名古屋駅、東京駅でのイベント
  - ・「飛騨路応援」旅行商品の販売

#### ＜観光庁＞

- 平成30年7月豪雨観光支援事業費補助金
  - ・周遊旅行促進事業
  - ・代替的交通手段の活用による旅行促進事業

#### ＜JNTO＞

- 生活・生業再建支援パッケージ事業
  - ・純広告等の情報発信
  - ・メディア招請

#### ＜中部運輸局＞

- 「中部の観光は元気です！」発信プロジェクト
  - ・多言語によるチラシ作成
  - ・SNSでの発信 等



飛騨路応援キャンペーンの様子（JR名古屋駅）



インフルエンサー招請  
上：高山の古い街並み  
下：郡上のジップライン体験



「中部の観光は元気です！」チラシ(英語)

## 観光資源の磨き上げ

## 【昇龍道エリアにおける観光資源の磨き上げと二次交通アクセスに関する調査事業】

## ● 調査の目的

観光地域づくりのDMOを中心に、地域の観光資源の活用と二次交通で抱える課題を調査・分析し、改善策等の検討を行い、昇龍道全体で共有することにより広域周遊観光の推進をはかる。

## ● 調査内容

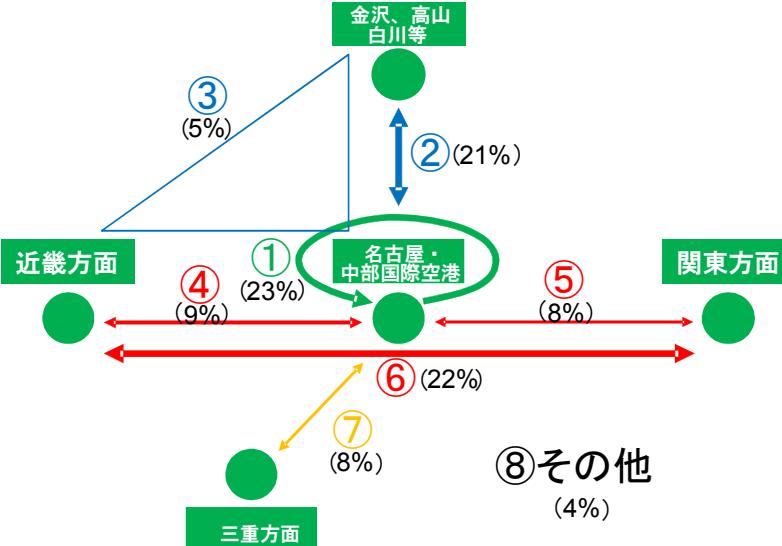
- ・昇龍道・中部北陸9県の日本版DMO法人計49か所にヒアリング。
- ・二次交通・受入環境の現地調査。
- ・昇龍道エリア内の基礎データ再整理と行動パターンや国別傾向を分析。

## 外国人モニター調査の様子

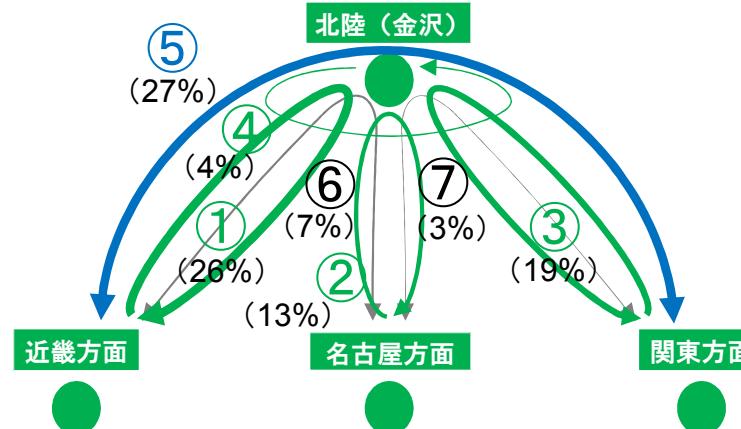


## 調査事例：調査結果から見えた外国人旅行者の行動パターン

## 中部国際空港利用者の周遊パターン



## 金沢訪問者の周遊パターン



⇒ 今年度中に調査結果を取りまとめ、DMO等関係者へ共有

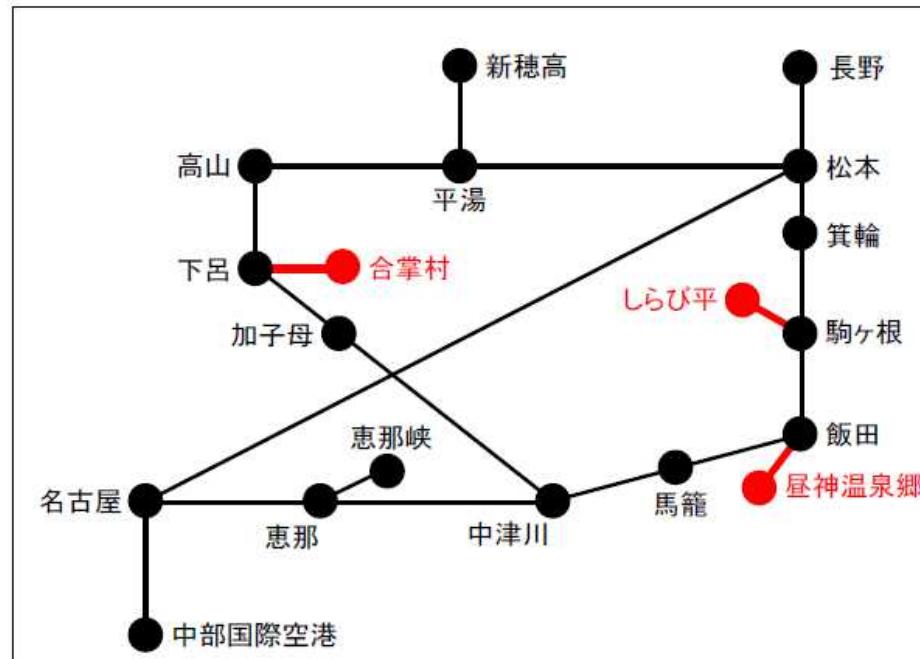


## 昇龍道フリーバスきっぷの拡充

- 昇龍道フリーバスきっぷでは、①高山・白川郷・金沢コース、②ワイドコース（①+五箇山・新穂高・平湯・下呂・松本等）、③松本・馬籠・駒ヶ根コースを設定
- 2018年10月より、③松本・馬籠・駒ヶ根コースの利用可能路線を3路線追加



チラシイメージ



- 駒ヶ岳ロープウェイをご利用しやすくするため、「駒ヶ根」から「しらび平」までの路線を追加
- 下呂温泉合掌村へのアクセスとして、「下呂」から「合掌村」までの路線を追加
- 阿智村・昼神温泉へのアクセスとして、「飯田」から「昼神温泉郷」までの路線を追加

## (2) 広域周遊観光の促進



昇龍道プロジェクト

### CEP (Central Nippon Expressway Pass! Rent a Car Plan) の拡充

- CEP取扱いレンタカー店舗が、6ブランド・173店舗からの申込が可能に（前年度より1ブランド増加）
- CEPの取扱いを延長（2018年9月30日まで⇒2020年9月30日まで）
- 訪日プロモーション地方連携事業等と連携した海外旅行博でのPR、海外メディア招請、WEBサイト、Facebook、YouTube等による情報発信を強化

#### ■ CEPの周遊エリア



- NEXCO中日本管内全線 + 名神（八日市～京都南）・新名神（甲賀土山～草津J）
- 名古屋高速・愛知道路コンセッションはオプション料金を追加し乗り放題

#### ■ CEPパンフレット



- 海外旅行博、各レンタカー店舗受付窓口等で配付

#### ■ WEB等による情報発信



- WEBサイト及びFacebookを英語・繁体中文・韓国語の3か国語で展開
- Facebookは香港・台湾・韓国・タイ・シンガポールなどに定期的に配信

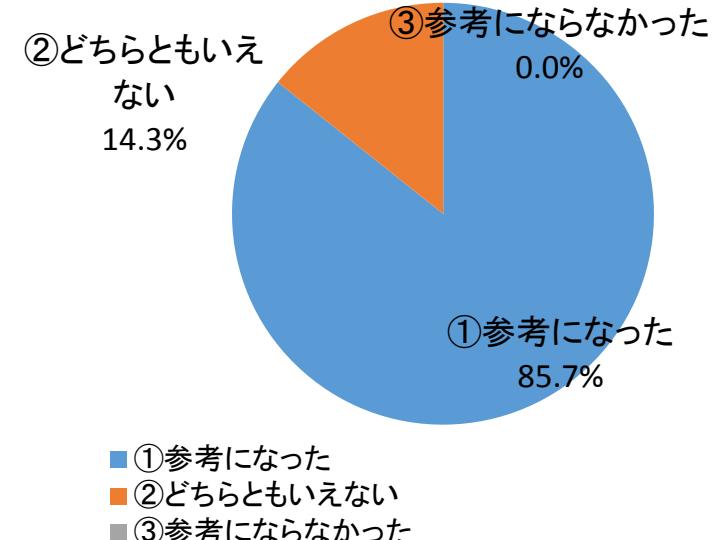
### 昇龍道プロジェクト 受入環境整備分科会

観光庁が実施した受入環境整備に関するアンケートで、旅行中に困ったことの1位が「施設等とのコミュニケーションがとれない」という結果を受け、『多言語コミュニケーション』をテーマに受入環境整備分科会を開催。

- テーマ：多言語コミュニケーション
- 日 時：平成30年11月1日(木) 13:00～15:00
- 参加者：95名（事務局除く）
- 内 容：[ICTの多言語音声翻訳技術と社会展開](#) … 国立研究開発法人 情報通信研究機構  
 ますます増えてくる訪日外国人旅行者に対しての有効な多言語対応 … (株)ブリックス  
 多言語AIチャットボット等を活用したトータル観光ソリューション … NTT西日本グループ  
 パナソニックの「おもてなし」ソリューション … パナソニックシステムソリューションズジャパン(株)  
 世界初のウェアラブル型ハンズフリー音声翻訳端末と観光産業における顧客接点強化サービス … 富士通(株)  
 訪日外国人旅行者の現状 … 事務局



【参加者アンケート】



### 昇龍道プロジェクト ビジネス交流会

受入環境整備分科会に引き続き、昇龍道プロジェクト会員相互の連携と各会員が取り組む訪日外国人旅行者の受入環境整備の一層の充実を目的に、情報や意見交換を自由に行う場として「ビジネス交流会」を開催。

■日 時：平成30年11月1日(木) 15:10～17:00

■会 場：名古屋合同庁舎第1号館共用大会議室

■参加者：95名（事務局除く）

■出展会員：

①パナソニックシステムソリューションズジャパン(株)

多言語翻訳サービス、対面KIOSK、メガ翻訳等

②(株)ジェイアール東日本企画 中部支社

Bebot (スマートフォン用AIコンシェルジュ)

③凸版印刷(株)

VoiceBiz (多言語コミュニケーションを支援する音声翻訳サービス)

④東急電鉄(株)・(株)Huber.

訪日外国人に特化した観光案内所事業「WANDER COMPASS」

⑤富士通株

世界初ウェアラブル型ハンズフリー音声翻訳端末

⑥(株)キットプランニング

MMQ (的確な医療を受けるためのコミュニケーションサポートツール、

Meets World (ストレスフリーな日本旅行を楽しむための生活サポートツール)

⑦NTT西日本グループ

顧客接点サポートサービス運営代行、多言語通訳サービス、多言語AIチャットボット等

⑧(株)ブリックス

24時間稼働の電話通訳センター

⑨ソースネクスト(株)

POCKETALK (74言語の双方向コミュニケーション音声翻訳機)





### 静岡空港の機能強化及び利便性向上

旅客ターミナルビルをリニューアル(平成30年12月以降)

- ・延べ床面面積が1.5倍（約18,200m<sup>2</sup>）に
- ・国内線と国際線のターミナルを分離
- ・国際線保安検査場を1列から2列に
- ・搭乗待合室や出入国エリアなどを拡充
- ・ボディスキャナーを導入
- ・静岡県産材を活用した空間づくり実施
- ・ムスリム旅行者に対応した男女別の礼拝室を設置
- ・飲食・物販スペースを3倍に拡充



旅客ターミナルビル外観



男女別の礼拝室





## 小松空港における外国人旅行者への受入対応強化

空港案内所における外国人旅行者の対応言語については、これまで英語に限られていたが、観光庁補助金（旅行環境整備事業費補助金）を活用し、多言語翻訳システム機器を導入。

⇒6言語（日・英・中（簡・繁）・韓・タイ）の対応が可能に。

⇒導入機器はタブレット型の対面型翻訳システムになっており、画像検索・地図検索などの付随機能も搭載することにより、多様な要望に対する支援が可能となるなど、受入対応を強化。



### ※タブレット型他言語音声翻訳サービスの特徴

#### ■向かいあって使える対面式

- ・お客様の顔を見ながら双方向での音声翻訳コミュニケーションが可能。
- ・ボタンを押して話すだけの簡単操作。

#### ■対面接客をスムーズに行えるサポート機能

- ・画像検索・地図検査など、外国人との会話に役立つ機能を搭載

# (3) 受入環境整備の推進



昇龍道プロジェクト

## 国際クルーズ旅客受入機能高度化補助の活用

訪日クルーズ旅客数500万人の実現に向けて、クルーズ旅客の利便性や安全性の向上及び物流機能の効率化を図るための事業を実施する者（地方公共団体又は民間事業者）に対し、その経費の一部を国が補助。

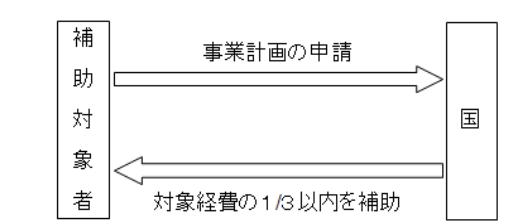
### ■受入環境改善の概要

#### 事業概要

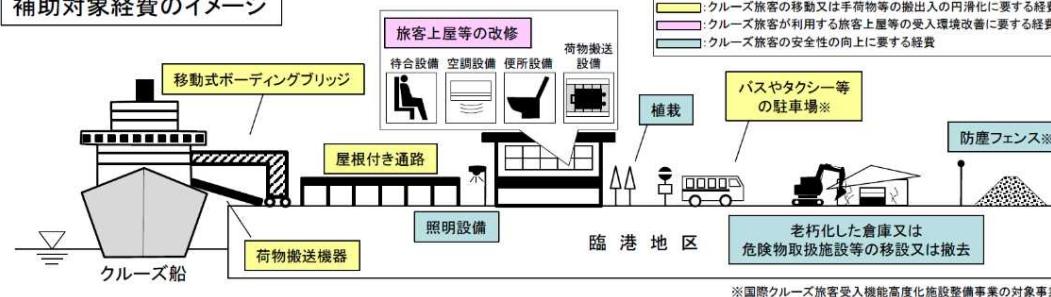
- 補助対象経費
  - ・クルーズ旅客の移動又は手荷物等の搬出入の円滑化に要する経費
  - ・クルーズ旅客が利用する旅客上屋等の受入環境改善に要する経費
  - ・クルーズ旅客の安全性の向上に要する経費 等

- 補助対象者  
地方公共団体（港務局を含む。）又は民間事業者

#### ■事業スキーム



#### 補助対象経費のイメージ



#### 整備事例(平成29年度)



### 清水港（日の出地区）

#### ○全体計画

平成29年度～平成31年度

#### ○平成30年度実施内容

調査設計

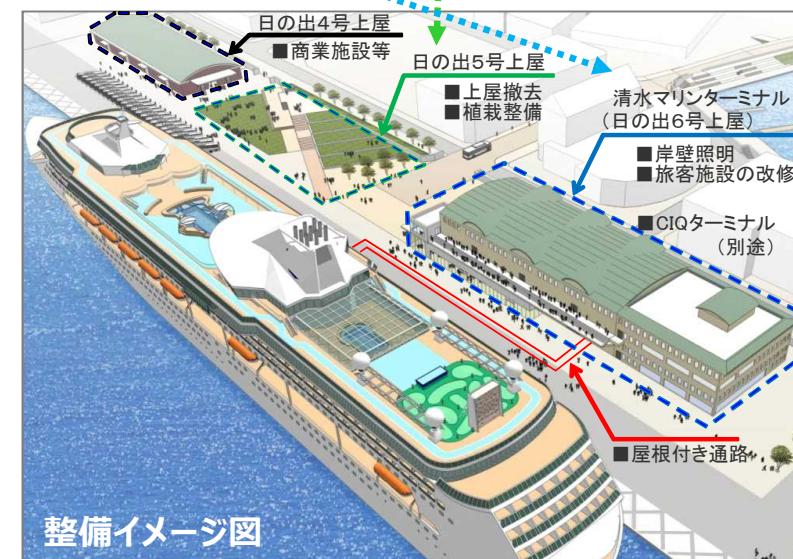
上屋撤去

日の出埠頭に着岸するスーパースター ヴァーゴ



### 日の出地区

#### クルーズ船





### 東海道新幹線駅における携帯通訳機の導入

- 訪日外国旅行者に東海道新幹線を安全・安心・快適に利用して頂くために、外国人旅客に対して、対話形式で案内が可能となる携帯通訳機を導入
- 導入内容：東海道新幹線全17駅、10月～11月にかけて「POCKETALK® (ポケトーク) W」を350個

#### ■携帯通訳機「POCKETALK® W」の使用

##### ○通訳機の性能

- 対応言語：世界74言語
- サイズ：小型 (110mm×59.8mm×15.8mm)、軽量 (約100g)

##### ○使用イメージ

- きっぷに関する説明、駅設備や列車運行情報の案内等



POCKETALK (ポケトーク)



改札口での案内の様子



使用イメージ

### 名古屋鉄道各駅におけるインバウンド対応

#### 「MEITETSU Tourist Information Center Central Japan International Airport」の開設

外国語による案内や情報提供の充実を図ることを目的に従来の名鉄トラベルプラザを改装。観光情報や交通情報を提供するとともに、アリペイやウィチャットペイによるキャッシュレス決済を導入。

- 開設日：2019年1月25日
- 設置場所：名鉄トラベルプラザ（中部国際空港駅 改札口横）
- 案内体制：案内スタッフのうち英語を話せるスタッフが1名常駐（JNTO認定案内所カテゴリー2取得予定）

#### 【サービス内容】

- ・名鉄沿線及び中部地域の観光情報や交通情報等の提供
- ・アリペイ及びウィチャットペイでの決済の導入
- ・名鉄乗車券（片道乗車券、μチケット等）の発売
- ・「昇龍道フリーバスきっぷ」等の引換え
- ・Wi-Fi レンタル等、旅行に関する付帯業務 等



#### 多言語対応の案内機器の導入

訪日外国人旅行者からの問合せ対応、輸送障害発生時などにおける多言語での情報提供の実施をするため、外国語に対応する案内機器を導入。

- 導入日：2018年11月12日～
- 導入機種：  
「POCKETALK® W」「メガホンヤク®」
- 導入駅及び導入台数  
名鉄名古屋駅 各4台 金山駅 各2台  
神宮前駅 各1台 常滑駅 各3台  
中部国際空港駅 各3台 営業部他 各2台
- 主な使用場面  
・乗車列車、乗換、沿線観光地等の案内  
・異常時における情報提供や誘導案内 等



POCKETALK® W



メガホンヤク®



### 近鉄グループにおけるインバウンド対応

#### 多言語対応の案内機器の導入

外国旅行者に迅速且つわかりやすい案内を行うため、近畿日本鉄道の主要駅において多言語翻訳機「POCKETALK® W」を導入。

○導入日：2018年11月6日

○導入機種：「POCKETALK® W」

74言語のうち任意の2言語でコミュニケーション可能な音声多言語翻訳機。

○導入駅：近鉄名古屋駅、大阪難波駅、近鉄日本橋駅、大阪上本町駅、鶴橋駅、大和八木駅、近鉄奈良駅、京都駅



POCKETALK® W

#### 宿泊施設におけるDCC決済導入

外国人旅行者がクレジットカードで支払う際に、リアルタイムでレート換算され、日本円か自国通貨のどちらで決済するかを選択することができる「DCC決済」を導入。

○岐阜都ホテル、津都ホテル  
2017年11月より導入

○四日市都ホテル  
2018年8月より導入

#### 御在所ロープウェイと猫空(マオコ)ロープウェイとの友好協定締結

2018年5月9日、御在所ロープウェイと台湾の猫空(マオコ)ロープウェイが友好協定を締結。ポスター掲示やモニター掲出等、相互PRを実施。



その他、アジアを中心に各国で開催されている旅行博に出展し、近鉄沿線の観光地紹介等のプロモーションを実施。

# (3) 受入環境整備の推進



昇龍道プロジェクト

## 高速バスの増便及び新設による対応強化

### ■セントレアリムジンバスの早朝便運行

平成30年7月21日より早朝便（1便）を設定し、1日15往復の運行を実施。



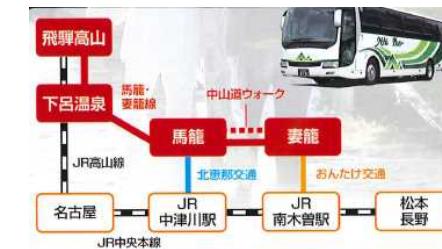
### ■高速バス「名古屋-高山」線の増便

外国人旅行者の利用が多い高速バス「名古屋-高山」線において、平成30年12月1日～平成31年3月31日までの4ヶ月間の期間限定で、1日3往復増便し、1日15往復で運行。平成30年の「名古屋-高山」線の乗車人数は、昇龍道プロジェクトを開始した平成24年に比べて約1.8倍に。



### ■「高山・下呂-馬籠・妻籠」線の新設（予定）

外国人旅行者が増加している高山・下呂地域と馬籠・妻籠地域を結ぶ高速バスを、4月1日～9月30日までの期間限定で運行開始予定。



(人)



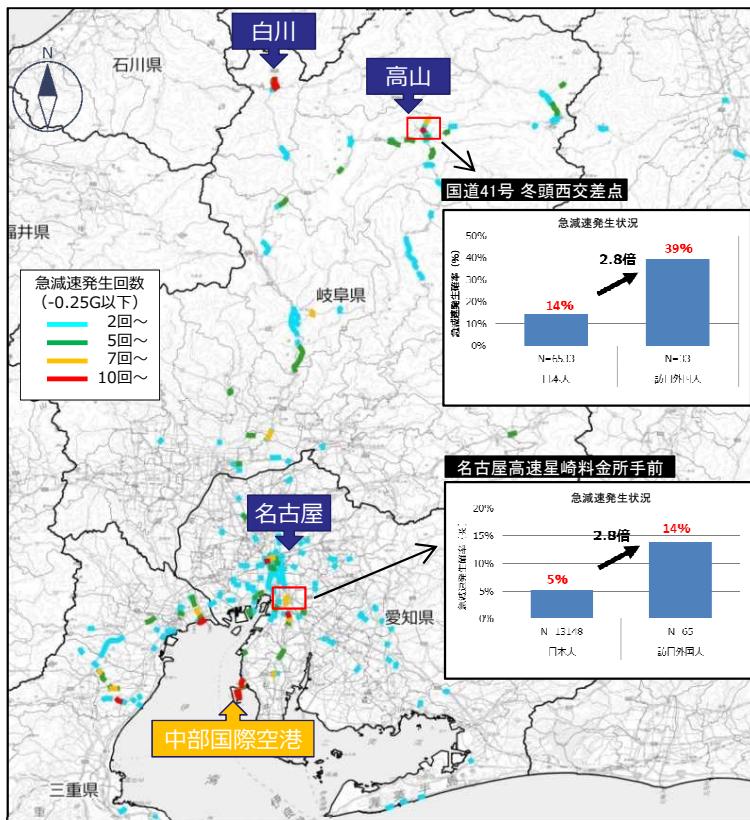
### 訪日外国人観光客レンタカー事故ピンポイント対策

○急増する訪日外国人観光客のレンタカー利用による事故を防止するため、レンタカー事業者や警察、観光部局と連携しながら、ETC2.0の急ブレーキデータ等を活用して、外国人特有の事故危険箇所を特定し、ピンポイント事故対策を講じる

#### 【STEP1】

- ・中部国際空港を利用する訪日外国人観光客を対象に取得したETC2.0データの分析により、事故危険箇所を特定

##### ▼ 外国人レンタカー利用者の急減速（急ブレーキ）発生箇所



【集計期間】ETC2.0プローブ：H30.5月データ、特定プローブ：H30.2～8月データ

#### 【STEP2】

- ・特定した箇所に対して、ピクトと英語を用いた注意喚起看板等を設置
- ・事故危険箇所のチラシを作成し、レンタカー利用者へ周知を図る

※対策はH30年度内に実施予定

##### ○岐阜県高山市冬頭西交差点の対策案



#### 【STEP 3】

- ・ETC2.0データ等を分析し、対策効果を検証
- ・引き続き、ピンポイント事故対策を講じる

※効果検証はH31年度に実施予定



### 魅力ある公共空間の整備及び受入環境整備の推進（道の駅）

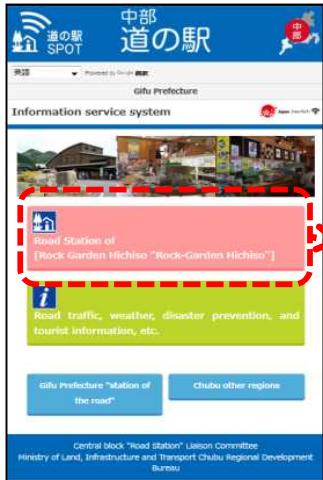
- 「道の駅」は、それ自体が観光の目的地となるなど、地域観光における重要性が高まっている
- 多言語に対応した外国人案内所やwi-fi環境、外国人案内所の整備など外国人観光客のニーズに対応したサービスを提供

#### WI-FI環境の整備 ポータルサイトの多言語化

- ・「道の駅」無料公衆無線LANを、統一の呼称「道の駅SPOT」として整備し、共通のSSIDを設定
- ・「道の駅SPOT」で自動接続するポータルサイトに「昇龍道」のバナー設置し、「昇龍道」サイトにリンク

#### Wi-Fi接続時TOP画面

#### 昇龍道サイトへ外部リンク



共通SSID  
をステッカー  
でPR



#### 昇龍道 ホームページ



Welcome to the Shoryudo

The Shoryudo is one of seven regional tourist routes in Japan specifically designated by the Japanese government.

#### 外国人案内所・免税対応



JNTO認定外国人観光案内所  
「道の駅」開国下田みなと



Tourist  
Information

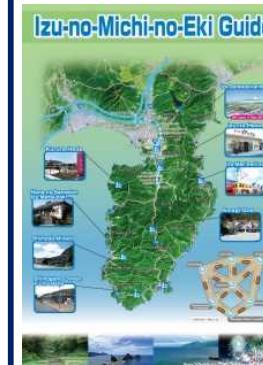


免税対応の推進



免税店シンボルマーク

#### インバウンド対応への案内機能強化



伊豆地域内の道の駅を紹介した英語版のリーフレットを作成



伊豆地域内の道の駅で統一的なトイレの使用パネルを提示

### 利用者にわかりやすい道路標識

- 高速道路ナンバリングの導入、交差点名標識に「観光地名称の表示・英語表記」に改善を図ることで、訪日外国人をはじめ、わかりやすい道案内を実現

#### 高速道路ナンバリング

高速道路の路線番号によるわかりやすい道案内実現に向けて

##### 整備事例

###### 【一般道】



三重県松阪市

###### 【高速道路本線】



岐阜県養老町

#### 交差点名標識への観光地名称の表示

- 交差点名標識を「観光地等の名称」「英語表記」に改善

##### 整備事例

###### ＜改善前＞



###### ＜改善後＞



岐阜県下呂市

# (3) 受入環境整備の推進



昇龍道プロジェクト

## 白タク排除に向けた啓発活動

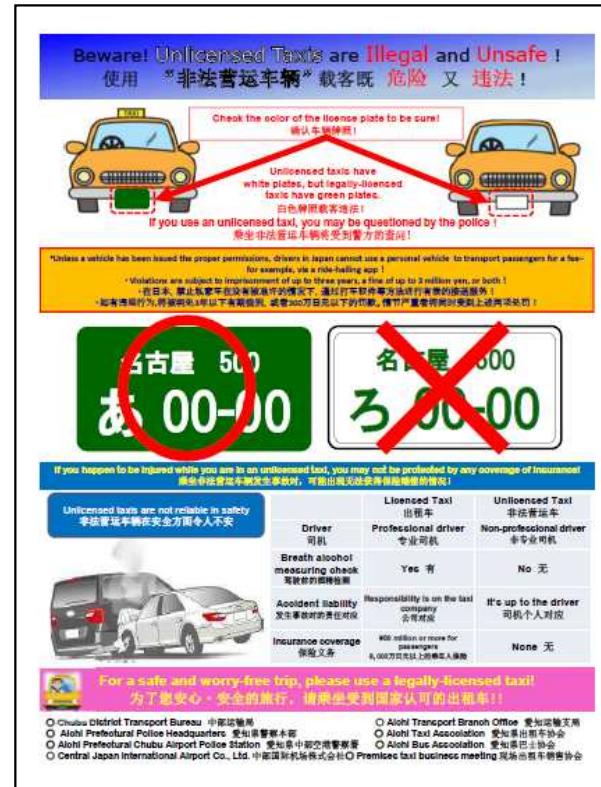
訪日旅行前に配車アプリで予約・決済し、空港や観光地において自家用車を使用してのタクシー行為（いわゆる白タク行為）が増加。訪日外国人旅行者に安全・安心な旅行を楽しんでもらうため、違法で危険な白タクを利用しないよう、警察等と共に中部国際空港及び富士山静岡空港にて啓発キャンペーンを実施。

### 【中部国際空港】

日時：平成30年7月5日  
場所：中部国際空港アクセスプラザ

#### ○啓発活動概要

愛知県警、愛知県タクシー協会、中部運輸局による啓発チラシ配布



【啓発チラシ】

### 【富士山静岡空港】

日時：平成30年7月17日  
平成31年2月18日  
場所：富士山静岡空港1Fロビー

#### ○啓発活動概要

静岡県警、静岡県タクシー協会、中部運輸局による啓発チラシ配布



7月17日啓発活動



2月18日啓発活動

# (3) 受入環境整備の推進



昇龍道プロジェクト

## 訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業費補助金の活用（川根本町）

観光庁の受入環境整備補助金を活用し、大井川鐵道沿線の観光スポット6箇所のトイレを一気に洋式化（平成30年3月）  
54%だった洋式化率は100%に

### 【トイレ写真】



（例）崎平駅公衆トイレ

### 洋式化率

	和式便器数	洋式便器数	洋式化率
現状	12	14	54%
改修後	0	26	100%

**事業概要** 和式便器の洋式化、温水洗浄便座の設置

### 【観光スポット：大井川鐵道】



SLや「機関車トーマス」等を運行。  
SLや創業当時のままの駅舎などが、  
多くの映画やドラマのロケ地として  
使用されており、観光客に人気を集め  
ている。

### 【観光スポット：寸又峡温泉郷】



大井川の上流にある温泉郷。「夢の吊橋」  
は「死ぬまでに一度は渡りたい世界の  
徒步吊橋10選」（トリップアドバイザ  
ー）に選ばれ訪日外国人の注目が高ま  
っている。

### 【トイレの位置関係】

観光スポット周辺トイレ



### 【大井川鐵道周辺】

- ①千頭駅前滝のトイレ
- ②崎平駅公衆トイレ
- ③田野口駅公衆トイレ

### 【寸又峡温泉】

- ④寸又峡天子の香和家公衆トイレ
- ⑤寸又峡イベント広場公衆トイレ
- ⑥寸又峡下駅駐車場トイレ

### 観光地における混雑対策 (白川郷)

世界遺産でもある白川郷の合掌造り集落は、年々増加する観光客により駐車場や展望台が大変な混雑となり、特にライトアップの時期は観光客の安全が確保出来ない程の状況に陥っていた。このことから、ライトアップの時期に事前予約制を導入し、集落内の混雑解消及び安全確保を図った。

#### 【ライトアップ時の取組内容】

- ・観光協会のWEBまたはFAXによる事前予約制（先着順）の導入
- ・バス＝60台、マイカー＝450台、人数換算では約5,000人に制限
- ・展望台は更に抽選とし、約1,000人を3回のローテーション制
- ・ライトアップ当日のマイカー入村チェック（2箇所によるQRコード確認）
- ・筑波大学と連携した留学生による外国人旅行者の案内対応 等



＜予約制導入前の混雑状況＞  
整理券等を求める行列など



＜事前予約制導入時の状況＞  
QRコード確認、村内の移動や案内の様子



展望台行きシャトルバスに並ぶ様子と展望台の様子



### 外国人旅行者の周遊性向上の推進 (実証実験・飛騨地域)

飛騨地域を訪れる外国人旅行者は一部の訪問先に集中していることから、訪問先の分散化・多様化を図るため、外国人旅行者の周遊性を向上させるとともに、域内での滞在時間を延長して消費の拡大に繋げる。

#### 実施内容

◇飛騨地域の二次交通や多言語対応等の課題を把握するとともにタクシーと通訳案内士を活用した方策を検討

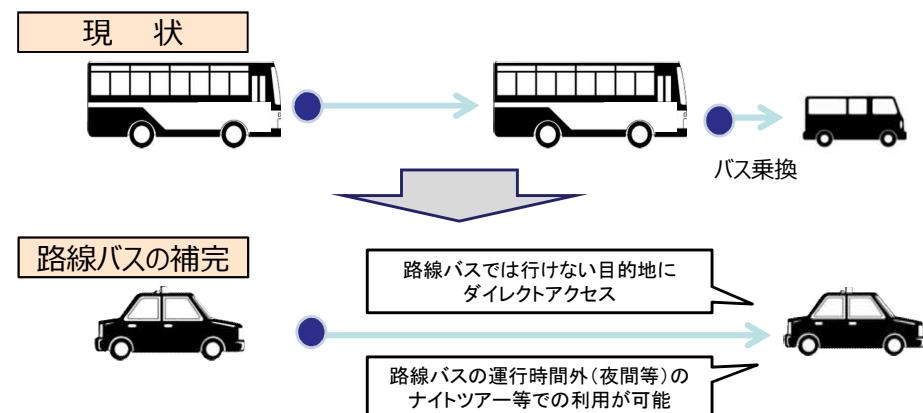
- ① 基礎調査
  - ・基礎データ整理、外国人旅行者・通訳案内士等に対するヒアリング調査 等
- ② 検討会の開催 (4回開催)
  - ・自治体、観光事業者、タクシー事業者、通訳案内士等 多様な関係者が参画
- ③ 外国人モニター調査
  - ・秋季モデルコース (11月)、冬季モデルコース (2月)



【検討会の様子】



【モニター調査の様子】





### 外国人登山ガイド養成による外国人登山の促進（実証実験・長野県）

長野県には3000メートル級の魅力ある山が各地にあり、多くの外国人が登山を楽しんでいるが、外国人登山者の山岳遭難が増加していることから、外国人が安全に楽しく登山ができる環境を整備するため、外国人登山ガイドの育成・活用を行う。

#### 実施内容

##### (1) 外国人登山者の実態調査及び外国人登山ガイドへのニーズ調査を実施

- ①北・中央・南アルプスの山域において、外国人登山者の実態（人数、国籍、性別、年齢、登山経験、訪日経験等）及び外国人登山ガイドに求めていることを調査
- ②調査期間は平成30年7月

##### (2) 研修会の開催

- ①外国人登山者が求めるニーズの理解と世界基準レベルの登山ガイドスキルの取得
- ②実施期間は平成30年8月

##### (3) 実技研修

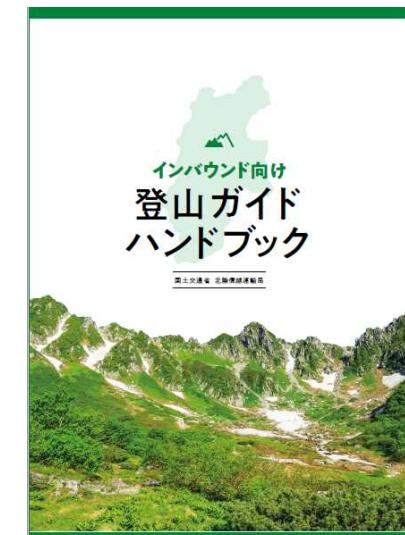
- ①日本登山独特の登山ガイドスキルの取得と英語による実践
- ②実施期間は平成30年9月

##### (4) ガイド冊子・外国人登山者向けパンフレットの作成

- ①外国人登山ガイドのポイントをまとめたガイド冊子の作成
- ②外国人登山者向けに長野県の山岳の魅力を照会するパンフレットを作成

##### (5) 事業検証

実技研修の際に実施するモニターアンケート調査の結果を分析し、ガイドの必要性と有効性の検証を行う



作成した「インバウンド向け  
登山ガイドハンドブック」

### スマートフォン決済環境整備中国人誘客促進（実証実験・長野県）

長野県内を訪れる中国人旅行者は平成28年から減少傾向であり、また、県内の観光地ではスマートフォン決済環境が整っておらず、中国人旅行者の不満の一因にもなっているため、スマートフォン決済環境を整備し、旅行者の増加及び満足度向上を図る。

#### 実施内容

##### (1) 県内観光地におけるキャッシュレス決済環境の整備状況及び導入のニーズ調査を実施

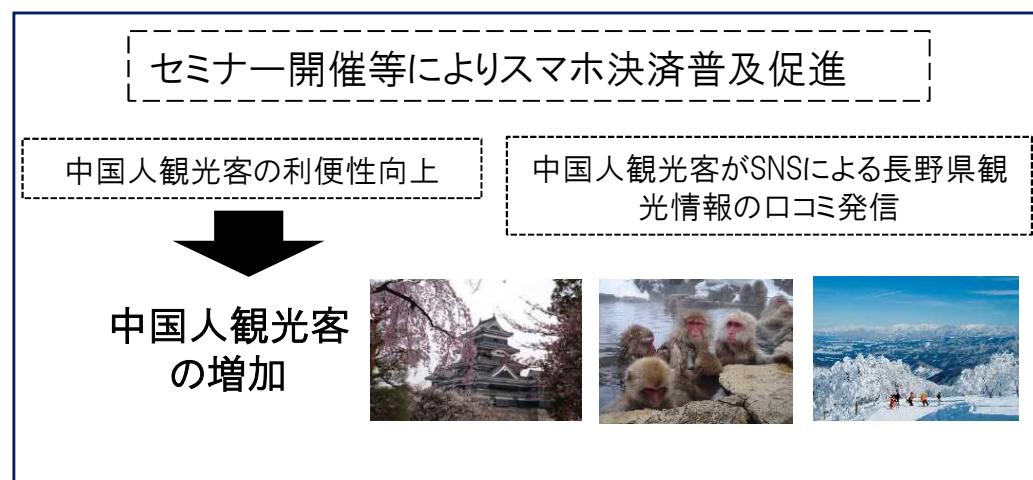
長野市、松本市、諏訪市、茅野市、軽井沢町、山ノ内町、白馬村、野沢温泉村等における宿泊施設、飲食店小売店、観光施設、医療機関等の決済環境の整備状況、導入のニーズについて調査

##### (2) スマートフォン決済環境の整備

- ①セミナーの開催等による導入促進（H30.11白馬・軽井沢・松本・長野の4会場で開催。）
- ②スマートフォン決済端末の貸与
- ③スマートフォン決済サービス導入の表示
- ④SNSを活用したプロモーションの実施

##### (3) アンケート調査

決済サービス導入施設を対象に、利用状況、中国人旅行客の増減、中国人旅行客の満足度等についてアンケート調査を実施。



### 手ぶら観光の促進（金沢-高山間における手ぶら観光）

金沢-高山間を移動（観光）する外国人旅行者は増加しており、途中の白川郷を観光する際、荷物を持ったまま或いは荷物を預けるといった不便が生じている。このような中、平成29年度に実証実験を行った「高山-松本間における高速バスを活用した貨客混載輸送」の結果を踏まえ、金沢-高山間における手ぶら観光（当日配送）の実現に向けて、現在関係者間において調整中。

○実施予定日：2019年6月～

○関係者：物流事業者、バス事業者、北陸・飛騨・信州3つ星街道観光協議会、中部運輸局、北陸信越運輸局  
 <主な課題>

- ・物流事業者と高速バスの接続時間及び実施バス便の設定
- ・金沢・高山での手ぶら観光カウンターでの荷受け・引取り対応
- ・金沢・高山それぞれの配送エリアの設定及び荷物の運賃額 等

【金沢-高山間の高速バスの下部トランクの状況】



金沢、白川郷、高山、いずれにおいても外国人旅行者の手荷物が多く、バスのトランクの空き状況も日や便によりまちまち。

【白川郷バスターミナルの状況】



左：白川郷到着時は多くの外国人旅行者が手荷物を持って下車する。  
 右：バス待合所は常に混雑している



### DMOの連携強化

地域の連携を図る連絡調整会議やDMO連携委員会を活用し、昇龍道の各DMOの実施事業等の情報共有を行うこと等を通じ、関係者間の適切な役割分担のもと、関係者間の連携を強化する。

#### 《昇龍道地域DMO連携委員会》

開催日：平成30年12月10日（月）13：30～16：30

場 所：名古屋合同庁舎1号館 11階共用大会議室

出 席：25団体32名

議 題：

- ・広域連携DMOの取組について  
『中部広域DMOの取組と今後の活動方針について』
- ・せとうちDMOの取組事例紹介  
『デジタルマーケティングの取組について』
- ・日本政府観光局の取組について  
『JNTOが考えるデジタルマーケティング』
- ・取組事例等の紹介及び意見交換  
『テーマ：インターネット・SNSを活用した情報発信』



# (4) 会員・関係者との連携の一層の強化



昇龍道プロジェクト

## 昇龍道内の日本版DMO法人

2018年 (H30) 12月21日時点

申請区分	法人名称	マーケティング・マネジメント区域
広域連携	一般社団法人 中央日本総合観光機構	富山県、石川県、福井県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県
地域連携	公益社団法人 とやま観光推進機構	富山県
地域連携	一般社団法人 長野県観光機構	長野県
地域連携	株式会社 南信州観光公社	【長野県】飯田市、松川町、高森町、阿南町、阿智村、平谷村、根羽村、下條村、壳木村、天龍村、泰阜村、喬木村、豊丘村、大鹿村
地域連携	一般社団法人 信州いいやま観光局	【長野県】中野市、飯山市、山ノ内町、信濃町、飯綱町、木島平村、野沢温泉村、栄村【新潟県】妙高市
地域連携	特定非営利活動法人 ORGAN	【岐阜県】岐阜市、関市、美濃市、郡上市
地域連携	公益社団法人 静岡県観光協会	静岡県
地域連携	公益財団法人 するが企画観光局	【静岡県】静岡市、島田市、焼津市、藤枝市、牧之原市、吉田町、川根本町
地域連携	公益財団法人 浜松・浜名湖ツーリズムビューロー	【静岡県】浜松市、湖西市
地域連携	一般社団法人 美しい伊豆創造センター	【静岡県】沼津市、熱海市、三島市、伊東市、下田市、伊豆市、伊豆の国市、東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町、函南町
地域連携	一般社団法人 愛知県観光協会	愛知県
地域連携	一般社団法人 奥三河観光協議会	【愛知県】新城市、設楽町、東栄町、豊根村
地域連携	公益社団法人 三重県観光連盟	三重県

# (4) 会員・関係者との連携の一層の強化



昇龍道プロジェクト

## 昇龍道内の日本版DMO法人

2018年（H30）12月21日時点

申請区分	法人名称	マーケティング・マネジメント区域
地域連携	公益社団法人 びわこビジターズビューロー	滋賀県
地域連携	一般社団法人 近江ツーリズムボード	【滋賀県】彦根市、近江八幡市、米原市、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町
地域	一般社団法人 金沢市観光協会	【石川県】金沢市
地域	一般社団法人 加賀市観光交流機構	【石川県】加賀市
地域	株式会社 まちづくり小浜	【福井県】小浜市
地域	一般社団法人 こもろ観光局	【長野県】小諸市
地域	株式会社 阿智星神観光局	【長野県】阿智村
地域	一般社団法人 飛騨・高山観光コンベンション協会	【岐阜県】高山市
地域	一般社団法人 下呂温泉観光協会	【岐阜県】下呂市
地域	一般社団法人 伊豆市産業振興協議会	【静岡県】伊豆市
地域	伊勢まちづくり 株式会社	【三重県】伊勢市



昇龍道内の日本版DMO候補法人

2018年（H30）12月21日時点

申請区分	法人名称	マーケティング・マネジメント区域
地域連携	公益社団法人 石川県観光連盟	石川県
地域連携	一般社団法人 ななお・なかのとDMO	【石川県】七尾市、中能登町
地域連携	一般社団法人 長野伊那谷観光局	【長野県】伊那市、駒ヶ根市、箕輪町、辰野町、飯島町、南箕輪村、宮田村、中川村
地域連携	【設立予定】一般社団法人 HAKUBA VALLEY プロモーションボード(仮称)	【長野県】大町市、白馬村、小谷村
地域連携	一般社団法人 木曽おんたけ観光局	【長野県】木曽町、王滝村
地域連携	一般社団法人 岐阜県観光連盟	岐阜県
地域連携	特定非営利活動法人 大垣観光協会	【岐阜県】大垣市、海津市、養老町、垂井町、関ヶ原町、神戸町、輪之内町、安八町、揖斐川町、大野町、池田町、本巣市
地域連携	一般社団法人 知多半島観光事業協会	【愛知県】南知多町、美浜町
地域	一般社団法人 黒部・宇奈月温泉観光局	【富山県】黒部市
地域	一般社団法人 こまつ観光物産ネットワーク	【石川県】小松市
地域	一般社団法人 白山市観光連盟	【石川県】白山市
地域	【設立予定】一般社団法人 志賀町観光協会	【石川県】志賀町
地域	勝山市観光まちづくり 株式会社	【福井県】勝山市
地域	一般社団法人 松本市アルプス山岳郷	【長野県】松本市

# (4) 会員・関係者との連携の一層の強化



昇龍道プロジェクト

## 昇龍道内の日本版DMO候補法人

2018年（H30）12月21日時点

申請区分	法人名称	マーケティング・マネジメント区域
地域	一般社団法人 信州千曲観光局	【長野県】千曲市
地域	一般社団法人 信州とうみ観光協会	【長野県】東御市
地域	一般社団法人 上松町観光協会	【長野県】上松町
地域	一般社団法人 白馬村観光局	【長野県】白馬村
地域	一般社団法人 多治見市観光協会	【岐阜県】多治見市
地域	【設立予定】一般社団法人 小山町観光推進協議会(仮称)	【静岡県】小山町
地域	一般社団法人 西尾市観光協会	【愛知県】西尾市
地域	一般社団法人 鳥羽市観光協会	【三重県】鳥羽市
地域	一般社団法人 相差海女文化運営協議会	【三重県】鳥羽市
地域	一般社団法人 志摩スポーツコミュニケーション	【三重県】志摩市
地域	一般社団法人 伊賀上野観光協会	【三重県】伊賀市
地域	【設立予定】一般社団法人 茷野町観光協会	【三重県】菰野町
地域	株式会社 Verde大台ツーリズム	【三重県】大台町
地域	一般社団法人 近江八幡観光物産協会	【滋賀県】近江八幡市

# (4) 会員・関係者との連携の一層の強化



昇龍道プロジェクト

## 昇龍道エリアのDMO一覧

(平成30年12月21日現在)

### 福井県

(株)まちづくり小浜

勝山市観光まちづくり(株)

### 岐阜県

(一社)岐阜県観光連盟

(特非)ORGAN

(特非)大垣観光協会

(一社)飛騨・高山観光コンベンション協会

(一社)下呂温泉観光協会

(一社)多治見市観光協会

### 滋賀県

(公社)びわこビザースピューロー

(一社)近江ツーリズムボード

(一社)近江八幡観光物産協会

### 三重県

(公社)三重県観光連盟

(一社)菰野町観光協会[設立予定]

(一社)鳥羽市観光協会

(一社)志摩スポーツコミッショ

### 石川県

(公社)石川県観光連盟

(一社)ななお・なかのとDMO

(一社)金沢市観光協会

(一社)加賀市観光交流機構

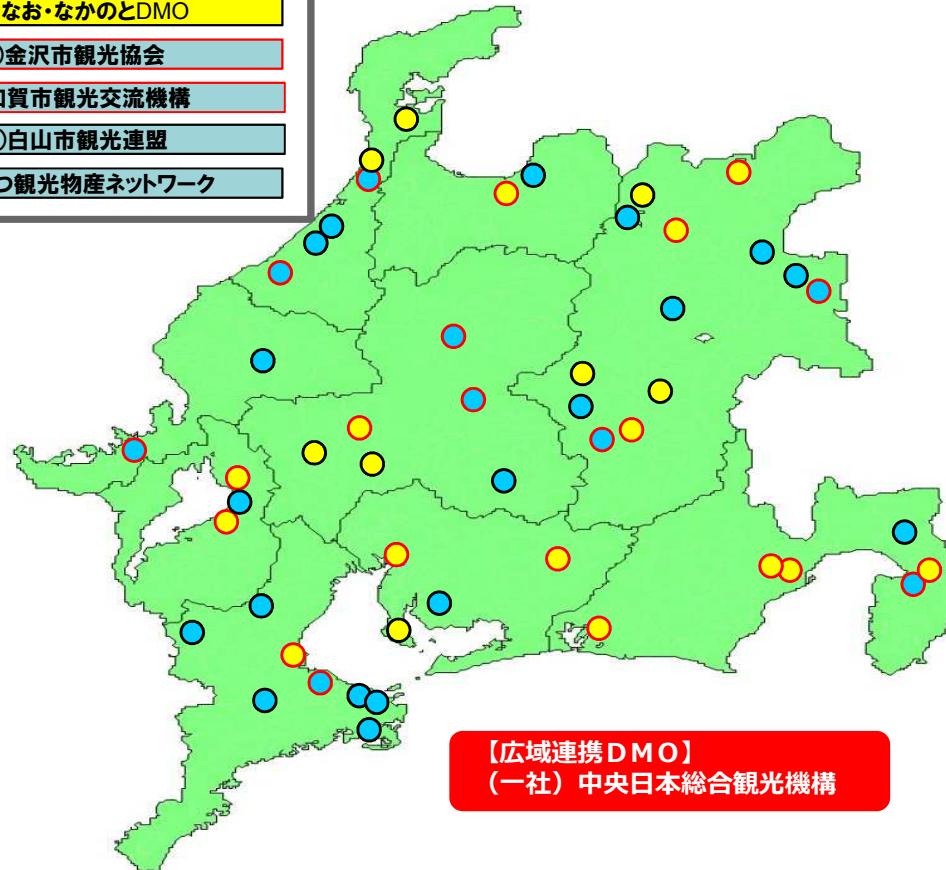
(一社)白山市観光連盟

(一社)こまつ観光物産ネットワーク

### 富山県

(公社)とやま観光推進機構

(一社)黒部・宇奈月温泉観光局



地域連携DMO

地域DMO

…日本版DMO

### 長野県

(一社)長野県観光機構

(一社)信州いいやま観光局

(株)南信州観光公社

(一社)木曽おんたけ観光局

(一社)長野伊那谷観光局

(一社)HAKUBA VALLEYプロモーションボード  
[設立予定]

(株)阿智屋神観光局

(一社)こもろ観光局

(一社)松本市アルプス山岳郷

(一社)信州とうみ観光協会

(一社)信州千曲観光局

(一社)白馬村観光局

(一社)上松町観光協会

### 静岡県

(公財)静岡県観光協会

(公財)浜松・浜名湖ツーリズムピューロー

(公財)するが観光企画局

(一社)美しい伊豆創造センター

(一社)伊豆市産業振興協議会

(一社)小山町観光推進協議会[設立予定]

### 愛知県

(一社)愛知県観光協会

(一社)奥三河観光協議会

(一社)知多半島観光事業協会

(一社)西尾市観光協会

### 北陸・飛騨・信州3つ星街道観光協議会の取組

#### ■通訳ガイド・観光案内所の相互交流と連携強化

金沢市、南砺市、白川村、高山市、松本市の通訳案内士、地域通訳案内士、ボランティアガイドによる研修会を開催した。

- ・開催日 H31.2.12
- ・場 所 高山市民文化会館
- ・参加人数 37名
- ・講師 美ら地球CEO  
山田拓氏



ワークショップ



ランチ交流会



#### ■欧州旅行会社招請・東南アジアメディア招請

- ・H30.11 欧州（イタリア・フランス・ドイツ）より4社4名による旅行会社招請を実施
- ・H30.2 東南アジア（インドネシア・シンガポール）より2社2名によるメディア招請を実施



欧州旅行会社招請（金沢市）



欧州旅行会社招請（松本市）



東南アジアメディア招請（松本市） -53-

# (4) 会員・関係者との連携の一層の強化



昇龍道プロジェクト

## 農泊の推進（農政局）

平成30年度の取組状況

農泊の取組をビジネスとして早期に自立化させるため、引き続き、意欲の高い地域を支援するとともに、人材育成・確保対策を充実、情報発信を強化

### 『「儲かる」体制の確立』と『地域の「宝」の磨き上げ』

- 30年度当初予算：57億円
- 29年度補正予算： 3億円

○平成30年度は、約300地域の応募の中から147地域を支援することとしており、計画的に支援を実施

- ⇒ 農泊ビジネスの現場実施体制の構築や地域資源を魅力ある観光コンテンツとして磨き上げる取組を支援
- ⇒ 古民家等を活用した滞在施設や農林漁業・農山漁村体験施設等の整備を支援



地域の「宝」



古民家を活用した宿泊施設



地域の食材を活用したメニュー作り

○料理人と農泊地域のマッチングなどの人材育成・確保を支援

- ⇒ 9月末に、マッチング支援サイト（サトchef）を開設



サトChef

### 地域の取組を「知って」もらう機会の創出

○国内外の旅行者や旅行事業者等に個々の農泊地域の魅力を効果的に発信

- ⇒ 台湾・香港向けに、現地Webサイト等を活用して農泊に関する情報を発信
- ⇒ 9月末に、農泊地域の情報を一元的に集約し、発信する「農泊ポータルサイト」を開設



香港向けPRサイト



農泊ポータルサイト

# (4) 会員・関係者との連携の一層の強化



昇龍道プロジェクト

## 伊勢志摩国立公園地域協議会（中部地方環境事務所）

### 取組①アクセス道の環境整備

- ▶ 手ぶら観光サービスの充実（市町）
- ▶ 主要駅での無料Wi-Fiサービスの提供（交通事業者）
- ▶ 観光交通に対する交通の円滑化の実施（市町、国）



### 取組②多様な主体によるサービスの提供

- ▶ 自然体験プログラムの開発支援、ツアー造成（県・市町・観光関係団体）
- ▶ 伊勢志摩国立公園エコツーリズム推進協議会の設置（県）
- ▶ プロモーションを目的としたファムトリップの実施（国・県・観光関係団体）



### 取組③まちなみ等の景観改善

- ▶ 太陽光発電施設設置にかかる景観形成ガイドラインの運用（県）
- ▶ 太陽光発電施設設置規制に関する条例の運用（市町）
- ▶ 電線の地中化（県）
- ▶ 違反屋外広告物の是正（県）

### 取組④インバウンド対応のための施設整備等

- ▶ 標識類の多言語化（国・県・市町）
- ▶ 展望施設の再整備（国・県）
- ▶ トイレの洋式化（県・市町）
- ▶ ビジターセンター等での無料Wi-Fiサービスの提供（国）



### 取組⑤人材育成

- ▶ 若者たちに伊勢志摩国立公園の価値を認識してもらう事を目的に、皇學館大学の学生団体と連携し、インスタミートキャラバンを開催（県）
- ▶ 自然体験活動に係るインストラクター等の人材育成支援（県）

### 取組⑥国立公園への誘導・プロモーション

- ▶ SNSによる情報発信（国・県・市町・観光関係団体）
- ▶ 「昇龍道プロジェクト」を活用し、広域連携によりメディアファムトリップを実施（県）
- ▶ 国内外の旅行博への出展（国・県・市町・観光関係団体）
- ▶ MICE誘致（県・観光関係団体）
- ▶ 海外に向けた海女文化のPR活動の実施（市町）



平成29年訪日外国人  
伊勢志摩国立公園利用者数  
**7.6万人**





平成30年の昇龍道エリアの外国人延べ宿泊者数は943万人泊、前年比15.6%増となり、全国の伸び率(11.2%)を上回った。これらの要因としては、昇龍道プロジェクト会員の積極的な海外プロモーションの実施や受入環境整備を行ったことが寄与したと考えられる。しかしながら、2020年までに外国人延べ宿泊者数1,400万人泊の目標を達成していくためには、会員の取組を更に加速していく必要がある。

### ■ 戦略的プロモーションの実施

豪州市場への本格的なプロモーションを開始するなど、滞在日数が長く旅行消費額が多い欧米豪市場への積極的なプロモーションを行った。しかし、戦略的なプロモーションを行っていくためには、JNTOや（一社）中央日本総合観光機構が行うデジタルマーケティングの分析結果を活用したプロモーションを強化するとともに、観光資源の磨き上げを行うなど地域の魅力を高めていくことが求められる。

### ■ 受入環境整備の推進

多言語コミュニケーションをテーマとした受入環境整備分科会を開催し、会員の受入環境整備を促進した。また、観光庁補助金等を活用した受入環境整備が進むなど、外国人旅行者の対応が強化されてきている。しかし、FITが増加していることへの対応、地域における消費を拡大させるための対応など、周遊・観光・滞在時における益々の受入環境整備が重要となり、そのためには二次交通の充実、キャッシュレス決済の促進等、利便性を向上していくことが求められる。

### ■ 今後の方向性

昇龍道におけるプロモーション及び受入環境整備を加速及び充実させていくためには、DMOが観光地経営の視点に立った観光地域づくりの舵取り役としての機能を果たし、魅力ある観光地づくりを行うことが重要となる。また、中央日本総合観光機構は地域のDMOと連携し、広域的な取組を加速させるとともに、国は地域及び広域で取り組むことを積極的に支援していくことが求められる。